

平成 29 年度食品産業動態調査関係業務  
(国産原材料使用実態等調査・分析業務)  
調査結果報告書

【品目グループ別・GAP 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ別】

平成 30 年 3 月  
**農林水産省**



# 目 次

<b>I. 取りまとめの概要</b> .....	1
1 取りまとめの目的 .....	1
2 取りまとめの実務 .....	1
3 取りまとめの内容 .....	1
4 取りまとめの方法 .....	1
(1) 品目グループ別.....	2
(2) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ別.....	2
<b>II. 取りまとめ結果</b> .....	3
第1 品目グループ別 .....	3
1 基本情報 .....	3
(1) 食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別の回収状況 .....	3
(2) 販売金額規模.....	4
(3) 従業員数規模.....	4
(4) 農畜産物の品目別仕入れ状況.....	5
(5) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合.....	7
(6) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向.....	10
2 食品安全・G A Pに関する認識について.....	12
(1) 食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答） .....	12
(2) 食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答） .....	13
(3) 食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答） .....	14
(4) G A Pの認知度.....	15
(5) G A Pに関する情報の収集元（複数回答） .....	16
(6) G A Pの取組に関して評価する点（複数回答） .....	17
(7) 食品安全リスク対応に要する費用（G A P 認証取得費用等）の主な負担者.....	18
3 G A P 認証取得等農畜産物の仕入れについて.....	19
(1) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの有無.....	19
4 G A P 認証取得等農畜産物を仕入れている事業者について.....	20
(1) G A P 認証取得等農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数・国産割合.....	20
(2) 仕入れている農畜産物のG A P 認証等の種類（複数回答） .....	21
(3) G A P 認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由（複数回答） .....	22
(4) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期.....	23
(5) G A P 認証取得等農畜産物による安全性・品質に関する確認コストの削減効果.....	24
(6) G A P 認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異.....	25

(7)	G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向	25
(8)	国産のG A P 認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）	26
(9)	国産・外国産のG A P 認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）	28
(10)	G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ量を維持・減少・ゼロとする理由（複数回答）	30
5	G A P 認証取得等農畜産物を仕入れていない事業者について	31
(1)	G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向	31
(2)	G A P 認証取得等農畜産物を仕入れることを検討している目的・理由（複数回答）	32
(3)	G A P 認証取得等農畜産物の検討している仕入れ開始時期	34
(4)	G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの準備・検討段階における問題点（複数回答）	35
(5)	G A P 認証取得等農畜産物の仕入れを行わない理由（複数回答）	37
第2	G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ別	39
1	基本情報	39
(1)	食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別の回収状況	39
(2)	販売金額規模	40
(3)	従業員数規模	40
(4)	農畜産物の品目別仕入れ状況	41
(5)	農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合	43
(6)	農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向	47
2	食品安全・G A Pに関する認識について	51
(1)	食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答）	51
(2)	食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答）	52
(3)	食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答）	53
(4)	G A Pの認知度	54
(5)	G A Pに関する情報の収集元（複数回答）	55
(6)	G A Pの取組に関して評価する点（複数回答）	56
(7)	食品安全リスク対応に要する費用（G A P 認証取得費用等）の主な負担者	57
3	G A P 認証取得等農畜産物を仕入れている事業者について	58
(1)	G A P 認証取得等農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数・国産割合	58
(2)	仕入れている農畜産物のG A P 認証等の種類（複数回答）	61
(3)	G A P 認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由（複数回答）	62
(4)	G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期	63
(5)	G A P 認証取得等農畜産物による安全性・品質に関する確認コストの削減効果	63
(6)	G A P 認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異	64
(7)	G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向	64
(8)	国産のG A P 認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）	65
(9)	国産・外国産のG A P 認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）	66
(10)	G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ量を維持・減少・ゼロとする理由（複数回答）	67
4	G A P 認証取得等農畜産物を仕入れていない事業者について	68
(1)	G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向	68
(2)	G A P 認証取得等農畜産物を仕入れることを検討している目的・理由（複数回答）	69

(3) G A P 認証取得等農畜産物の検討している仕入れ開始時期	70
(4) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの準備・検討段階における問題点（複数回答）	71
(5) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れを行わない理由（複数回答）	72
<b>Ⅲ. 統計表</b>	<b>73</b>
第1 品目グループ別	73
第2 G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ別	87
<b>Ⅳ. 「食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別」、 及び「G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ別」の結果概要</b>	<b>100</b>
<b>Ⅴ. 調査事項（アンケート調査票）</b>	<b>104</b>

#### [用語解説]

##### 品目グループ

Vのアンケート調査票の問4（以下「問4」という。）に回答し、かつ「その他」の品目の仕入れをしていない食品産業事業者（「品目グループ」の用語解説において、以下「事業者」という。）について、以下により区分した農畜産物のグループをいう。

- ① 米、麦類又は豆類の、いずれかの品目のみを仕入れている、または、いずれかの品目の仕入れ額が農畜産物の仕入れ額計の9割以上を占めることが、問4において確認された事業者のグループ（以下「穀物G」という。）
- ② 野菜、果物又はきのこ等食用林産物の、いずれかの品目のみを仕入れている、または、いずれかの品目の仕入れ額が農畜産物の仕入れ額計の9割以上を占めることが、問4において確認された事業者のグループ（以下「青果物G」という。）
- ③ 茶のみを仕入れている、または、茶の仕入れ額が農畜産物の仕入れ額計の9割以上を占めることが、問4において確認された事業者のグループ（以下「茶G」という。）
- ④ 牛肉、豚肉、鶏肉又は鶏卵の、いずれかの品目のみを仕入れている、または、いずれかの品目の仕入れ額が農畜産物の仕入れ額の9割以上を占めることが、問4において確認された事業者のグループ（以下「畜産物G」という。）
- ⑤ ①～④以外の事業者のグループ（以下「複数品目G」という。）

##### G A P

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。Good Agricultural Practice の略語で、農業生産工程管理のこと。

##### G A P 認証取得等農畜産物

本調査結果報告書において、G A P 認証（GLOBAL G. A. P.、ASIAGAP/JGAP）を取得した農場又は都道府県G A P等に取り組む農場で生産された農畜産物のこと。

## GAP 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ

V のアンケート調査票の問 14 に回答した食品産業事業者（「GAP 認証取得等農産物の仕入れ対応等グループ」の用語解説において、以下「事業者」という。）を、回答した選択肢の別に以下により区分したグループをいう。

- ① 「取引要件にして、仕入れている」の選択肢を回答した事業者のグループ  
（以下「要件仕入れG」という。）
- ② 「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」の選択肢を回答した事業者のグループ（以下「優先仕入れG」という。）
- ③ 「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」の選択肢を回答した事業者のグループ（以下「対応無し仕入れG」という。）
- ④ 「仕入れていない」の選択肢を回答した事業者のグループ  
（以下「仕入無しG」という。）
- ⑤ 「わからない」の選択肢を回答した事業者のグループ  
（以下「仕入れ不明G」という。）

## I. 取りまとめの概要

### 1 取りまとめの目的

GAPの認証取得の今後の拡大に当たって、食品産業事業者（以下「事業者」という。）のニーズに即して推進していくことが重要であることを踏まえて、事業者を対象に、GAP認証取得等農畜産物の使用実態、使用に当たっての課題、今後の使用の意向等（以下「使用実態等」という。）について把握を行うことを目的として調査を実施し、有効回答のあった全ての事業者について、食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別（以下「業別」という。）に傾向を把握するため、アンケート調査票（Vを参照。以下「調査票」という。）の問1の質問項目に着目し、「調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】」として調査結果を取りまとめた。

しかしながら、業別以外の観点から傾向を把握することは、GAPの認証取得拡大の推進に資することから、調査票の問1以外の質問項目に着目した使用実態等の把握を行うことを目的として取りまとめを行う。

### 2 取りまとめの実務

取りまとめは、平成29年度食品産業動態調査関係業務（国産原材料使用実態等調査・分析業務）（以下「平成29年度調査」という。）の企画・立案から調査の実施・取りまとめに係る業務を請け負った（株）ピーシーサポートサービスが、当該請負業務の一環として実施した。

### 3 取りまとめの内容

本取りまとめにおいて、

- ・品目グループ（調査票の問4関連）
- ・GAP認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ（調査票の問14関連）

に着目した使用実態等を取りまとめた。

### 4 取りまとめの方法

平成29年度調査のデータを基に、相互関係を明らかにしていくことを目的として、品目グループ別に着目した取りまとめを（1）により、GAP認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ別に着目した取りまとめを（2）により実施した。

#### （1）品目グループ別

##### ア 品目グループ別の整理

目次の「用語解説」に記載の以下の①～⑤のグループ別に取りまとめた。

- ① 穀物G
- ② 青果物G
- ③ 茶G
- ④ 畜産物G
- ⑤ 複数品目G

イ 図表の整理

「品目グループ」と、調査票の全ての質問項目との集計を行い、図表として整理した。

(2) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ別

ア G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ別の整理

目次の「用語解説」に記載の以下の①～⑤のグループ別に取りまとめた。

- ① 要件仕入れG
- ② 優先仕入れG
- ③ 対応無し仕入れG
- ④ 仕入れ無しG
- ⑤ 仕入れ不明G

イ 図表の整理

「G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ対応等グループ」と、調査票の問 14 以外の質問項目との集計を行い、図表として整理した。

問い合わせ先

◎本調査結果について  
農林水産省 生産局  
農業環境対策課 生産工程管理班  
電話：(代表) 03-3502-8111 内線：4852  
(直通) 03-6744-7188  
FAX： 03-3502-0869

◎食品産業動態調査について  
農林水産省 大臣官房政策課  
食料安全保障室 食料生産力班  
電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3809  
(直通) 03-6744-0546  
FAX： 03-6744-2396

## Ⅱ. 取りまとめ結果

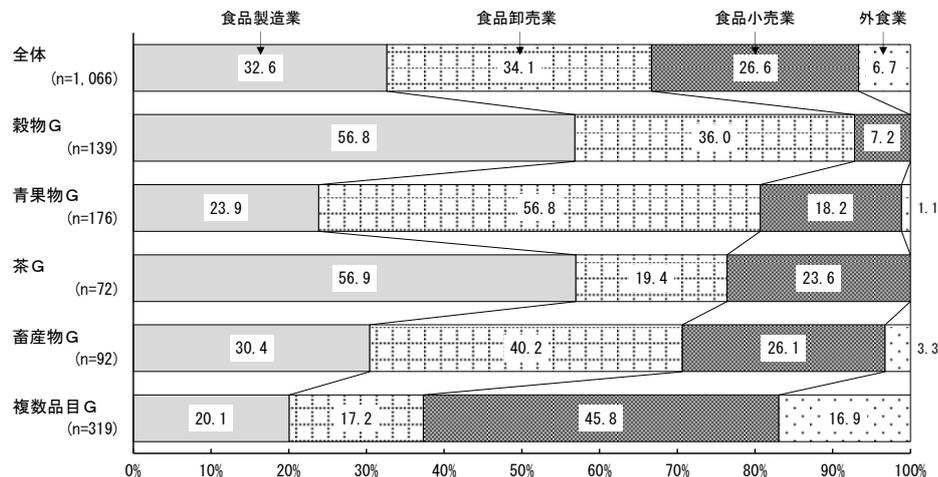
### 第1 品目グループ別

#### 1 基本情報

##### (1) 食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別の回収状況

業について回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「食品卸売業」の34.1%であった。

図1－(1) 食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別の回収状況



(注) 「全体」は、平成29年度食品産業動態調査（国産原材料使用実態等調査・分析業務）調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】（以下「調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】」という。）のⅡの1の(1)における食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業の有効回答数を基に整理したもの。

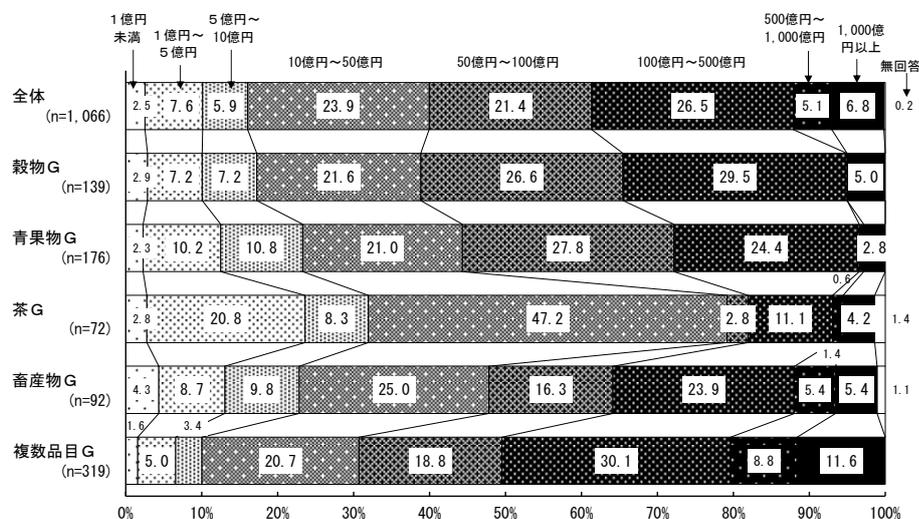
(注) 「全体」のnは有効回答票の送付のあった事業者の数、その他のnは各品目グループの事業者の数で、図中の割合を算出するにあたっての分母。「全体」のnは、各品目グループの計と一致しない。以下、(1)から(4)の図において同じ。

(注) 割合は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。以下同じ。

## (2) 販売金額規模

販売金額規模について回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「100 億円以上 500 億円未満」の 26.5%であった。

図 1 - (2) 販売金額規模

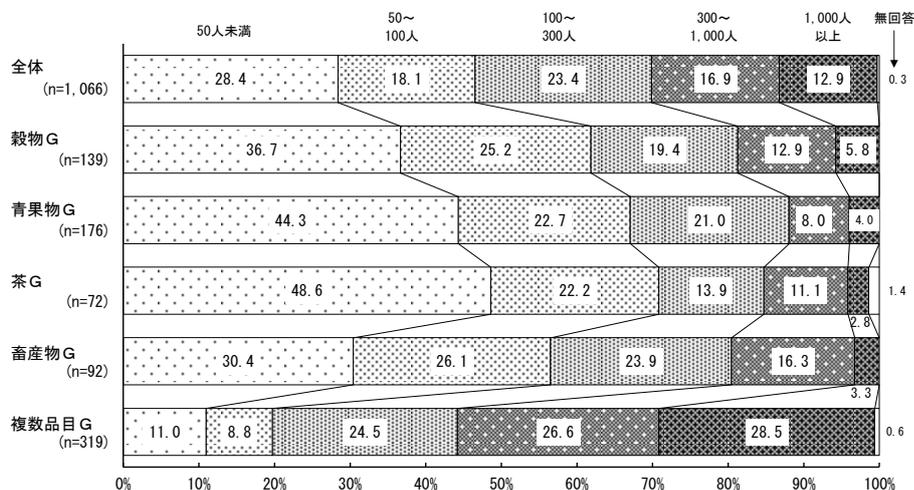


(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図1 - (2)の「全体」と同じ。

## (3) 従業員数規模

従業員数規模について回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「50 人未満」の 28.4%であった。

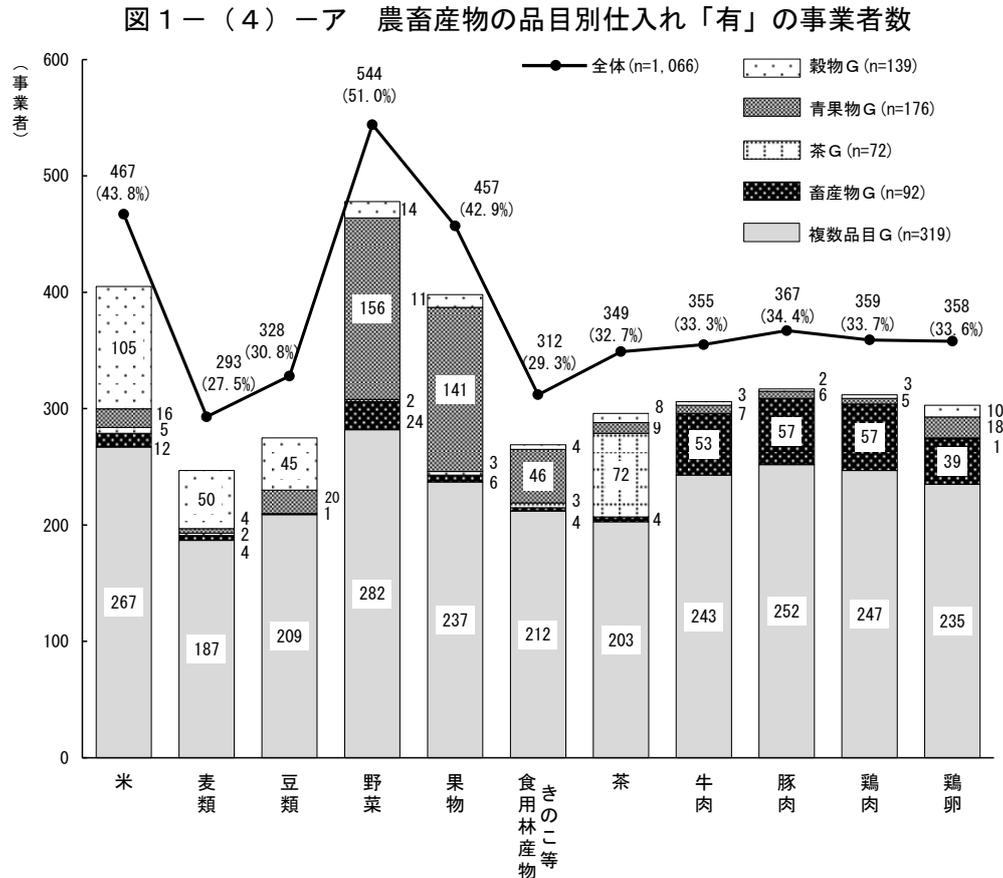
図 1 - (3) 従業員数規模



(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図1 - (3)の「全体」と同じ。

#### (4) 農畜産物の品目別仕入れ状況

仕入れをしている農畜産物について回答の傾向は、全体と、各品目グループの計とは同じであった。



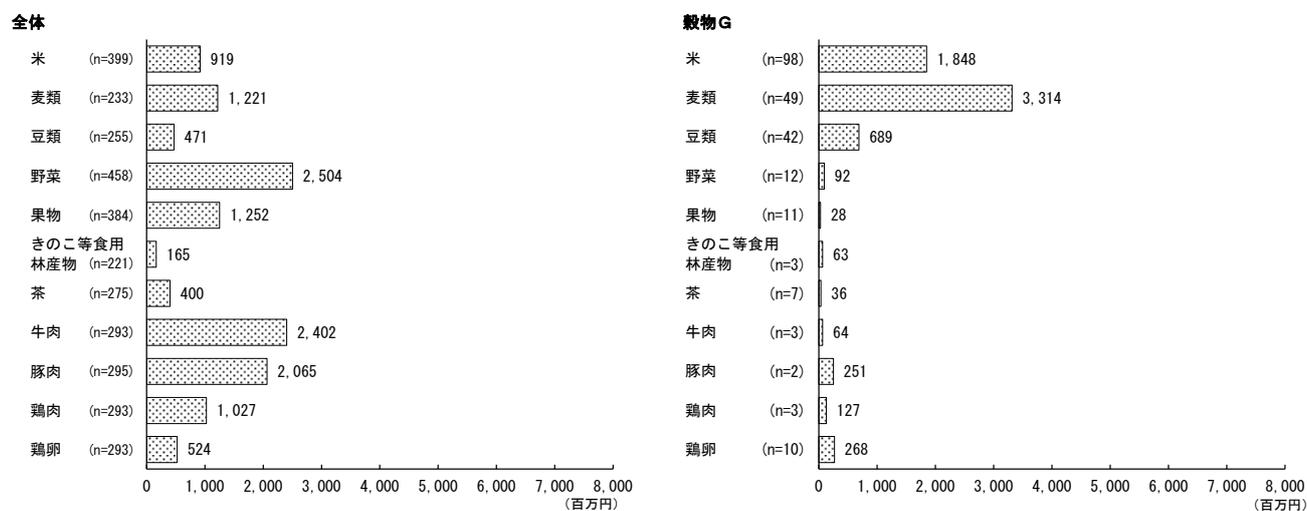
(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図 1 - (4) - アの「全体」と同じ。

(注) 各品目の割合を算出するにあたっての分母は、有効回答票の送付のあった事業者の数 1,066。n は品目別の事業者の数で参考値。

(注) Ⅱの第 1 における穀物G、青果物G、茶G、畜産物G、複数品目Gは、Vのアンケート調査票の問 4 に回答し、かつ「その他」の品目の仕入れをしていない事業者であり、「その他」の品目を仕入れた事業者を含まないことから、穀物G、青果物G、茶G、畜産物G及び複数品目Gの計と、全体とは一致しない。

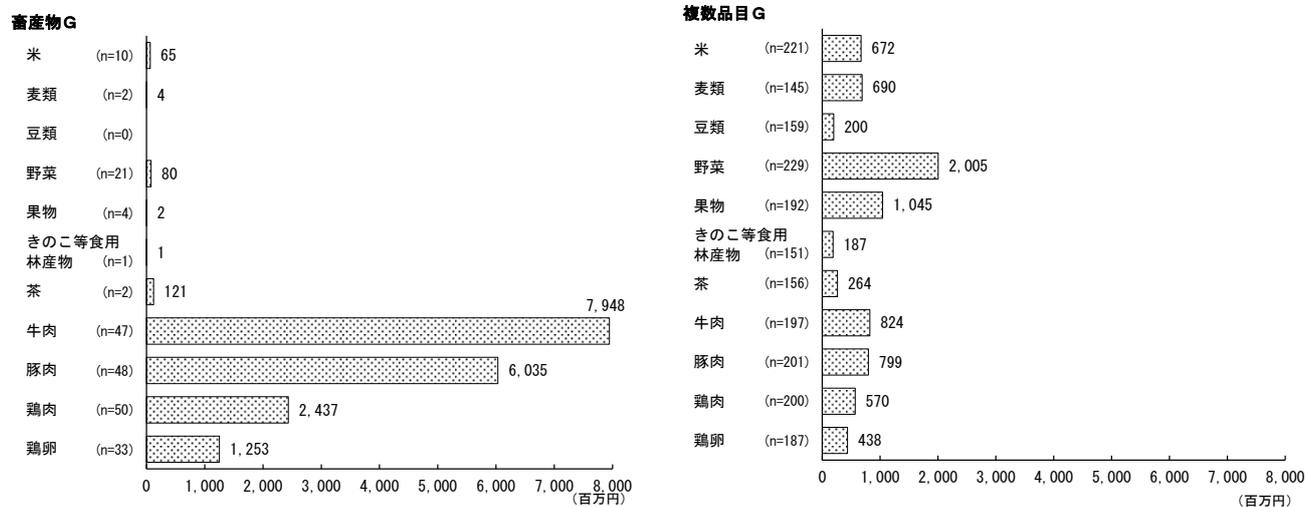
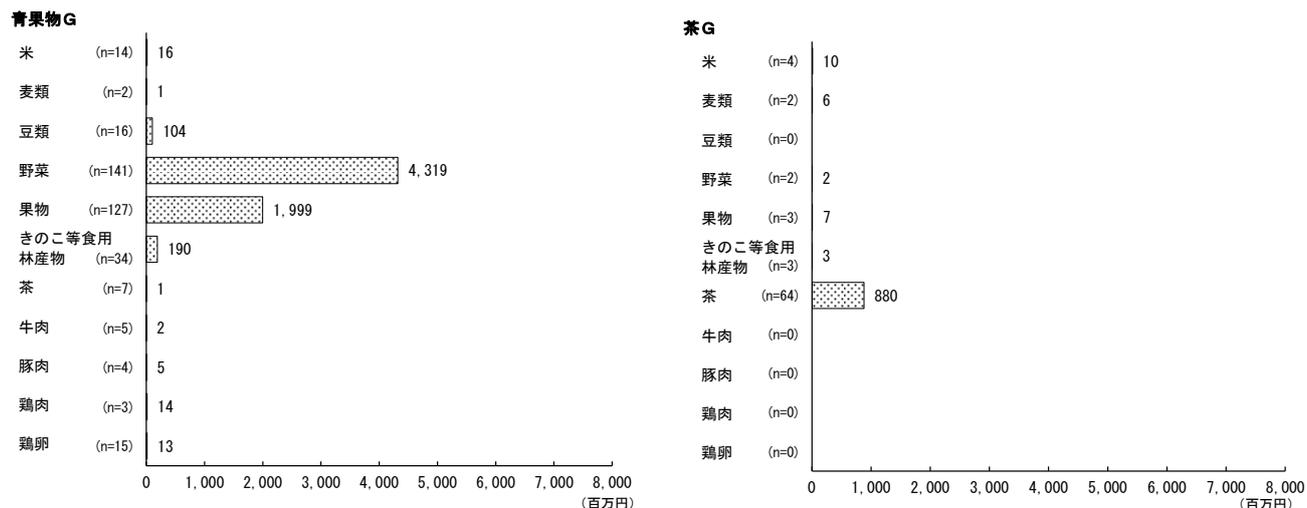
仕入れをしている農畜産物について年間の仕入れ額を品目ごとに聞いたところ、事業者別の平均は、全体では「野菜」の2,504百万円が最も高かった。

図1-(4)-イ 農畜産物の一事業者あたりの品目別年間仕入れ額



(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図1-(4)-イの「全体」と同じ。

(注)nは(4)で各品目の仕入れを「有」とし、かつ、仕入れ額の回答のあった事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、図1-(4)-イの図において同じ。



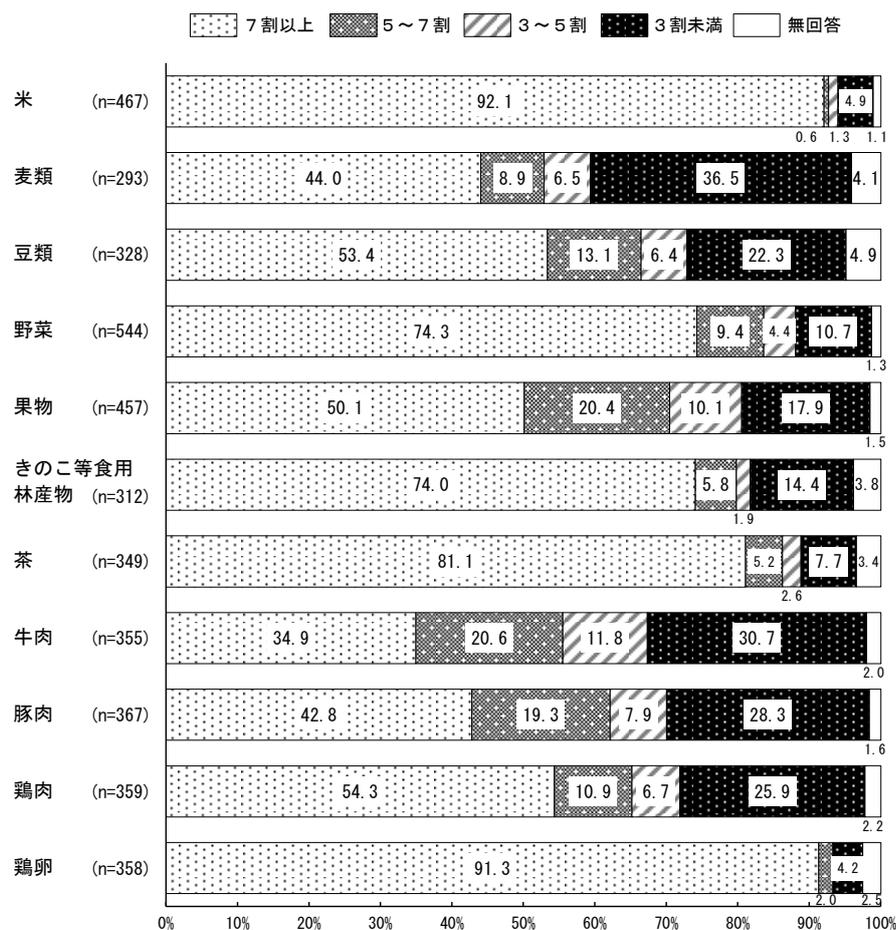
## (5) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合

(※ (4) で仕入れ「有」と回答した事業者のみ集計。)

農畜産物の仕入れの質問に対して、「仕入れあり」と回答した事業者について、その国産割合を聞いたところ、「7割以上」という回答が最も多かった品目及びその割合は、全体では「米」が92.1%であったが、穀物Gでは米、麦類、豆類のうち「米」の86.7%、青果物Gでは野菜、果物、きのこ等食料林産物のうち「きのこ等食料林産物」の82.6%、茶Gでは「茶」の83.3%、畜産物Gでは牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵のうち「鶏卵」の94.9%、複数品目Gでは「米」の94.0%であった。

図1 - (5) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合

全体

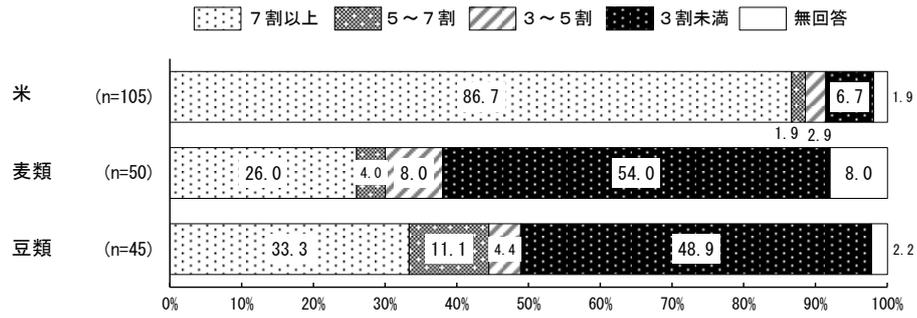


(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図1 - (5)の「全体」と同じ。

(注) nは(4)で各品目の仕入れを「有」と回答した事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。

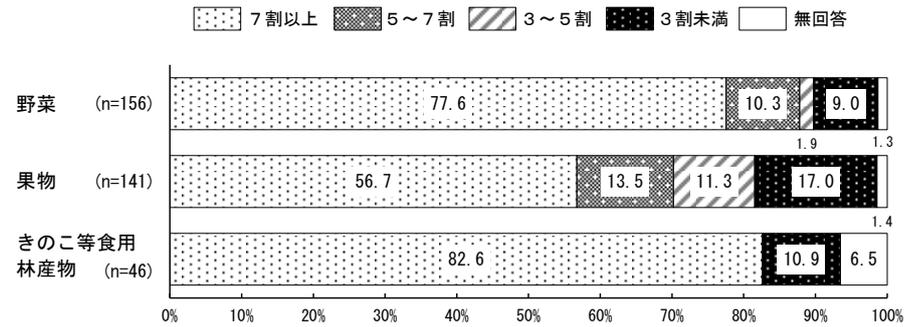
以下、(5)の図において同じ。

穀物G



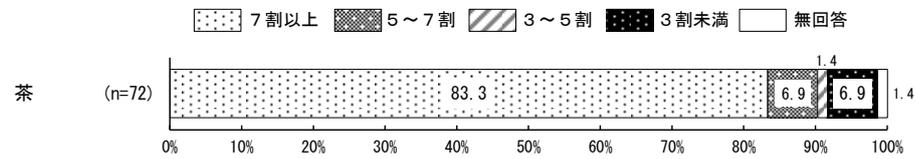
(注) 穀物Gの3品目のみ表記。

青果物G



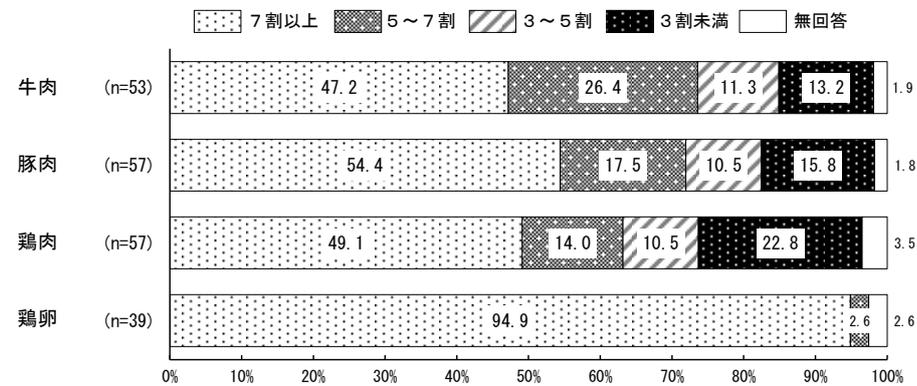
(注) 青果物Gの3品目のみ表記。

茶G



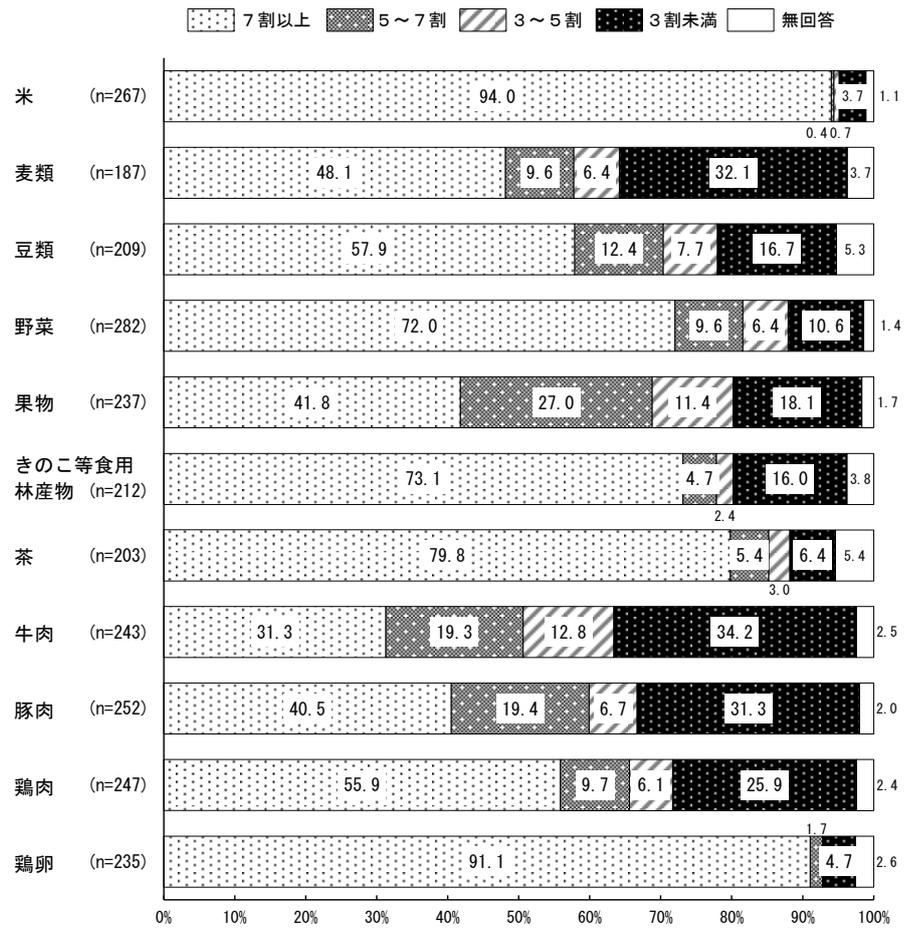
(注) 茶Gの1品目のみ表記。

畜産物G



(注) 畜産物Gの4品目のみ表記。

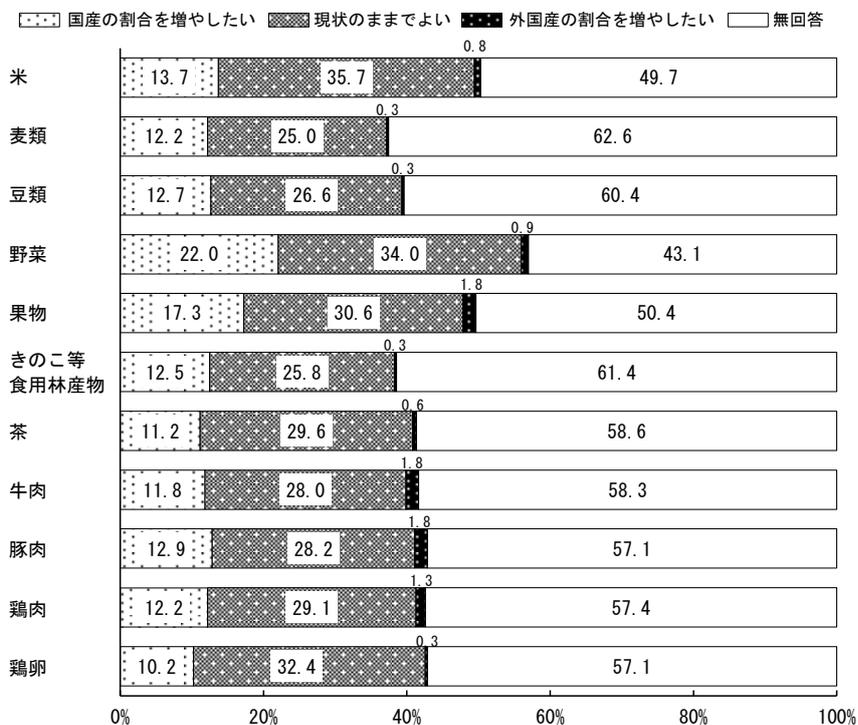
複数品目 G



## (6) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向

農畜産物の今後の国産・外国産の仕入れの意向を聞いたところ、「国産の割合を増やしたい」と回答した割合の最も高い品目は、全体では「野菜」の22.0%であったが、穀物Gでは米、麦類、豆類のうち「米」の18.0%、青果物Gでは野菜、果物、きのこ等食料林産物のうち「野菜」の31.3%、茶Gでは「茶」の23.6%、畜産物Gでは牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵のうち「豚肉」の23.9%、複数品目Gでは「野菜」の39.8%であった。

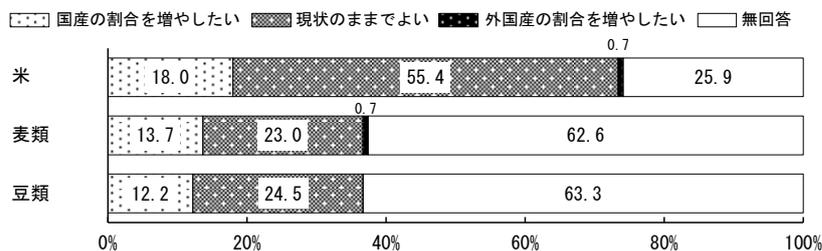
図1－(6) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向  
全体 (n=1,066(100%))



(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図1－(6)の「全体」と同じ。

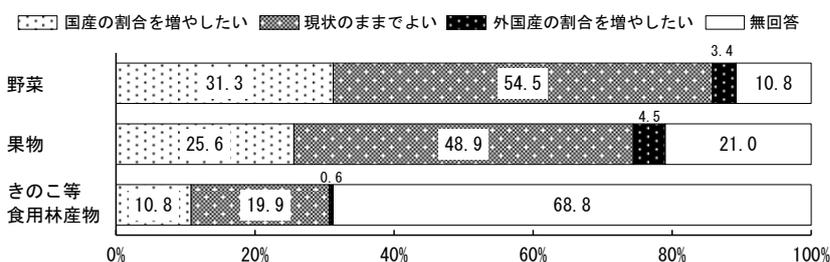
(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、(6)の図において同じ。

### 穀物G (n=139 (100%))



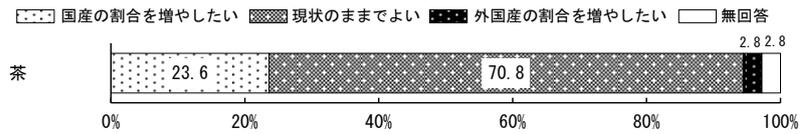
(注) 穀物Gの3品目のみ表記。

### 青果物G (n=176 (100%))



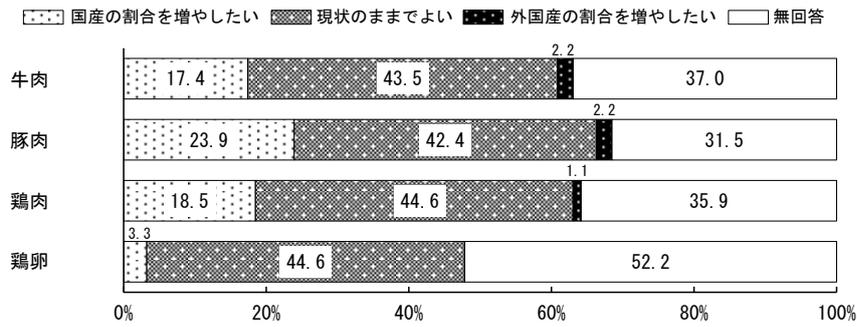
(注) 青果物Gの3品目のみ表記。

茶 G (n=72 (100%))



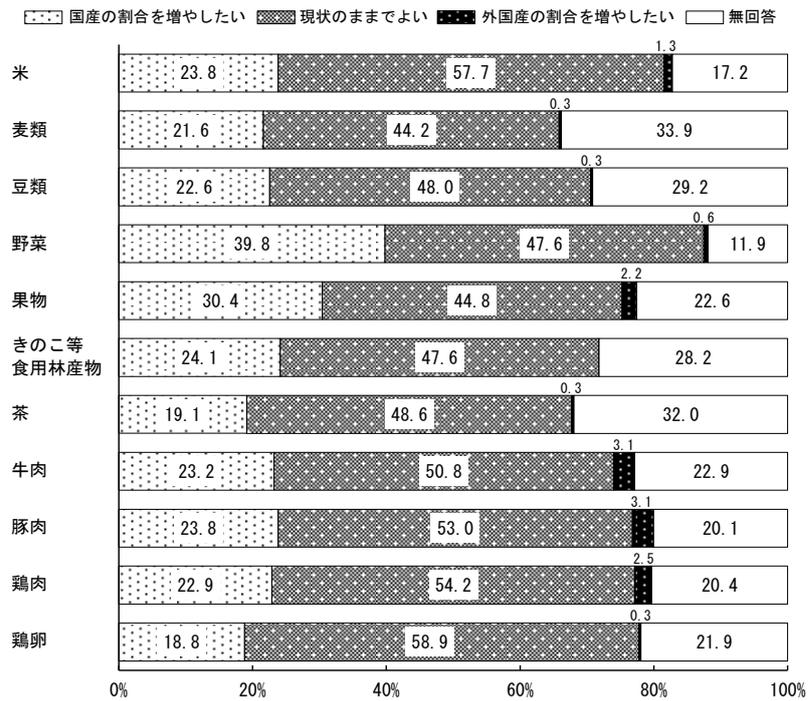
(注) 茶Gの1品目のみ表記。

畜産物 G (n=92 (100%))



(注) 畜産物Gの4品目のみ表記。

複数品目 G (n=319 (100%))

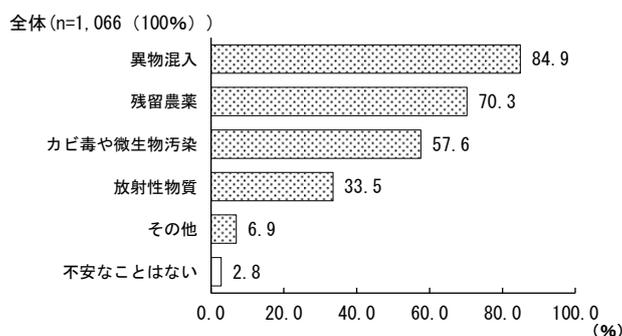


## 2 食品安全・GAPに関する認識について

### (1) 食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答）

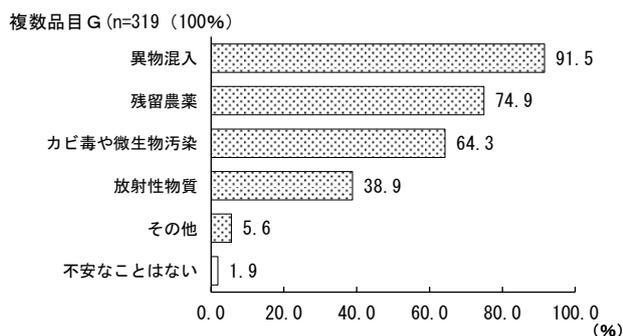
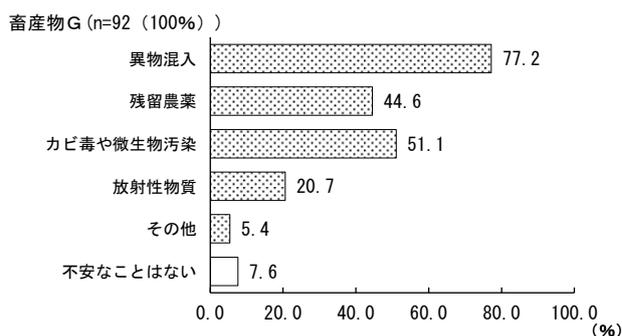
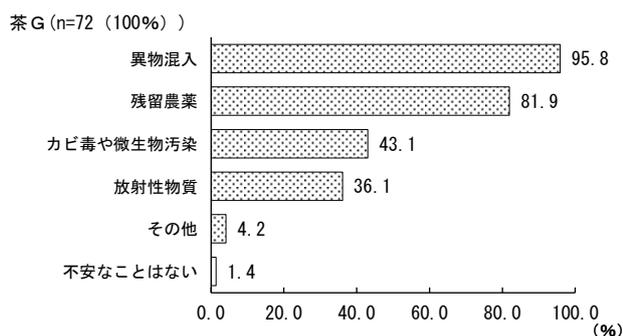
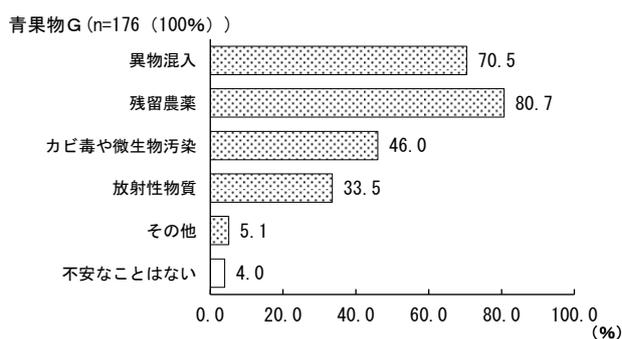
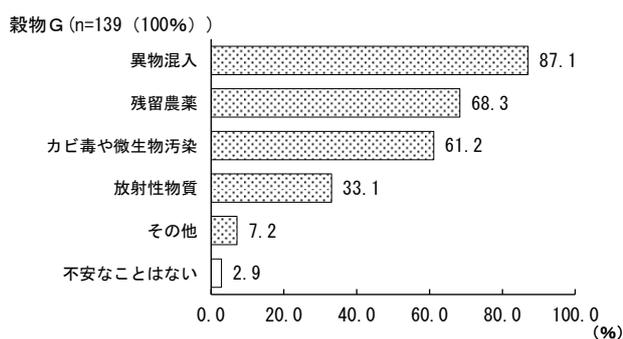
食品を仕入れる際に食品安全の観点から感じる不安について聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「異物混入」の84.9%であった。なお、青果物Gでは「残留農薬」の80.7%が最も高く、次いで「異物混入」が70.5%であった。また、畜産物Gでは「異物混入」の77.2%が最も高く、次いで「カビ毒や微生物汚染」が51.1%であった。

図2－(1) 食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答）



(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2－(1)の「全体」と同じ。

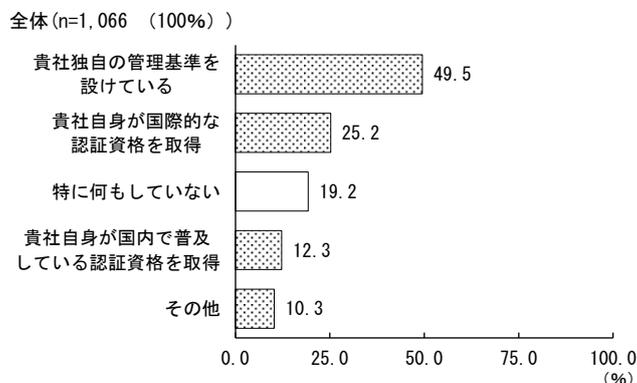
(注) n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(1)から(3)の図において同じ。



## (2) 食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答）

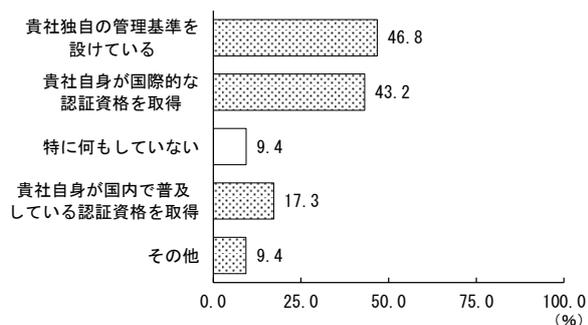
食品全般の安全面について事業者の体制として取り組んでいる、または、重視していることを聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「貴社独自の管理基準を設けている」の49.5%であった。なお、茶Gでは「貴社自身が国際的な認証資格を取得」が最も多かった。

図2－(2) 食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答）

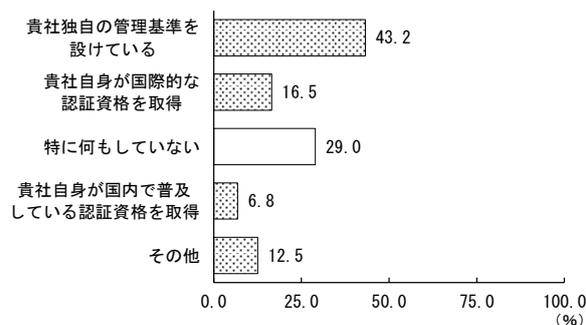


(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図2－(2)の「全体」と同じ。

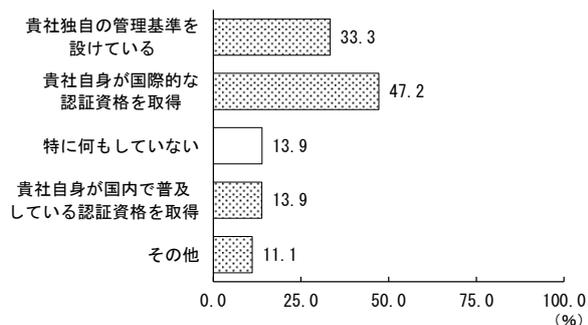
穀物G (n=139 (100%))



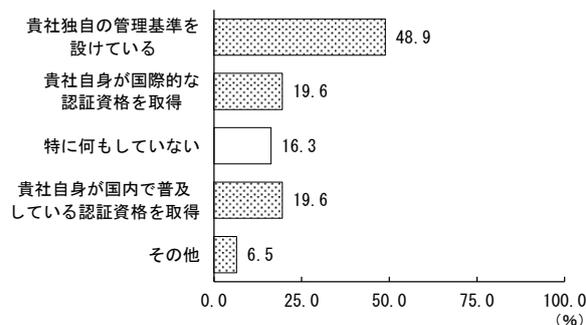
青果物G (n=176 (100%))



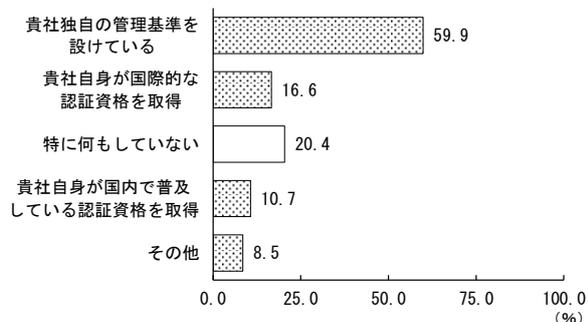
茶G (n=72 (100%))



畜産物G (n=92 (100%))



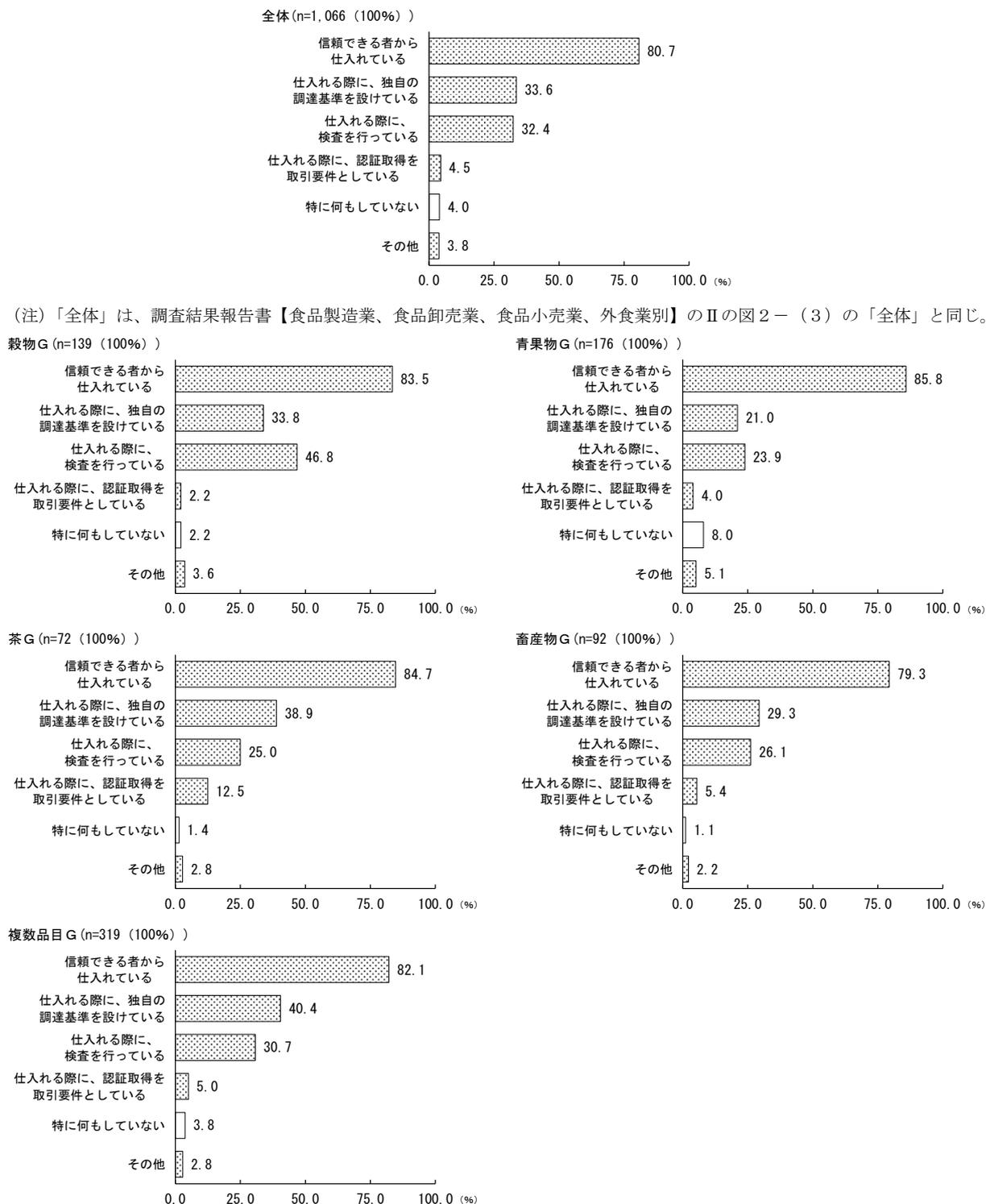
複数品目G (n=319 (100%))



### (3) 食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答）

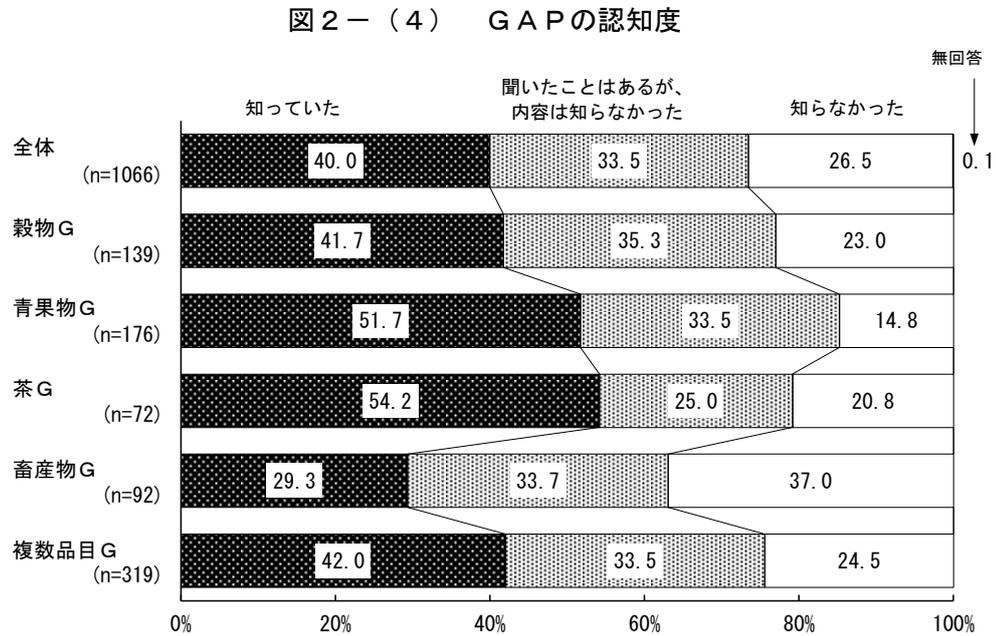
食品全般の安全面に関して仕入れの際に事業者として取り組んでいる、または、重視していることを聞いたところ、回答の最も多かった選択肢は、全体及び全ての品目グループにおいて「信頼できる者から仕入れている」であった。

図2－(3) 食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答）



#### (4) G A Pの認知度

G A Pを知っているかと聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「知っていた」の40.0%であった。なお、畜産物Gでは「知らなかった」が最も多かった。



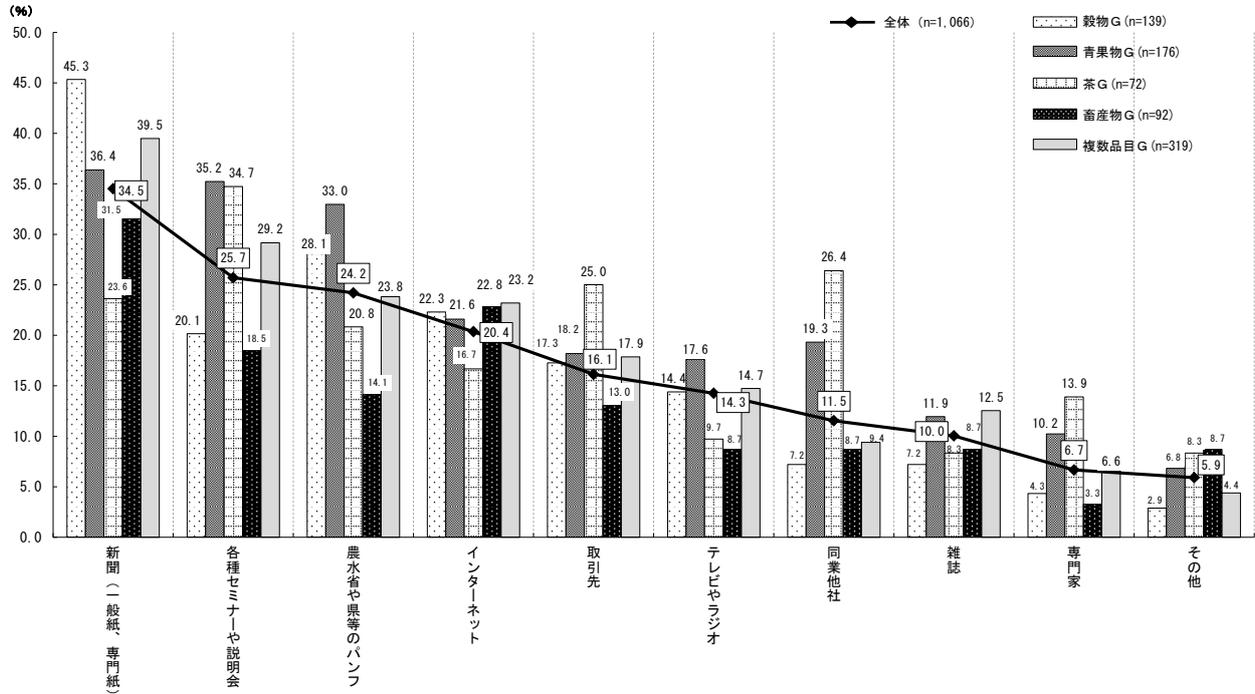
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2-(4)の「全体」と同じ。

(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各グループの図中の割合を算出するに当たっての分母。

(5) G A Pに関する情報の収集元（複数回答）

G A Pに関する情報をどのようなところで見聞するかを聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は全体では「新聞（一般紙、専門紙）」の34.5%であった。

図2－（5） G A Pに関する情報の収集元（複数回答）



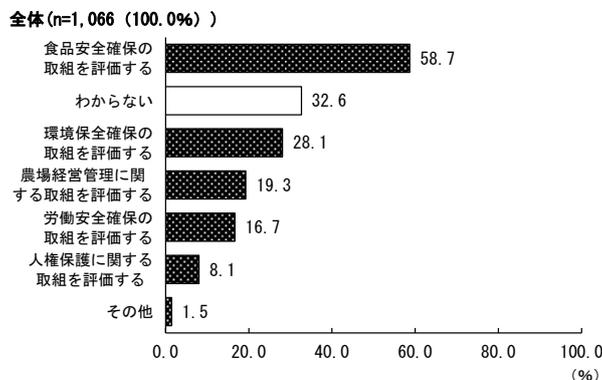
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2－（5）の「全体」と同じ。

(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。

(6) G A Pの取組に関して評価する点（複数回答）

G A Pの取組に関して評価する内容を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢は、全体及び全ての品目グループで「食品安全確保の取組」であった。

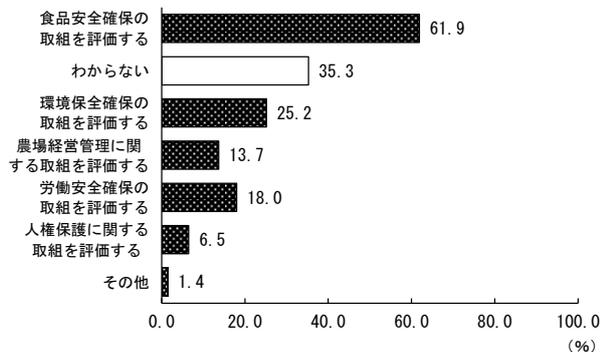
図 2 - ( 6 ) G A Pの取組に関して評価する点



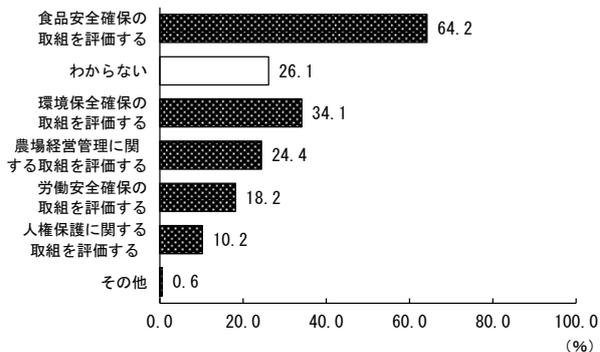
(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図 2 - ( 6 ) の「全体」と同じ。

(注) n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(6)の図において同じ。

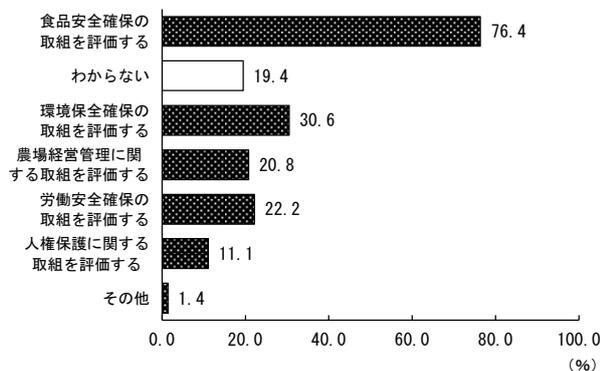
穀物 G (n=139 (100.0%))



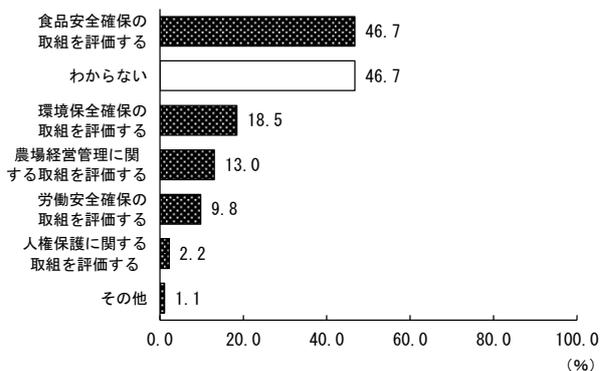
青果物 G (n=176 (100.0%))



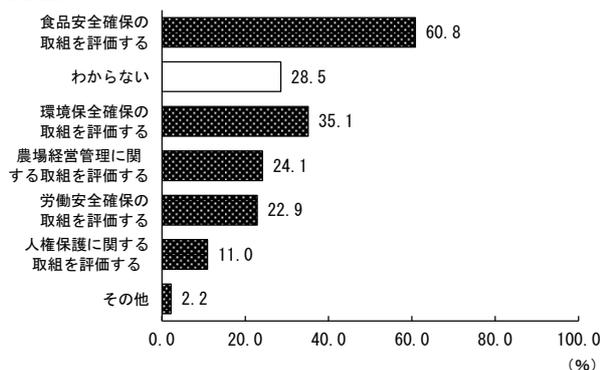
茶 G (n=72 (100.0%))



畜産物 G (n=92 (100.0%))



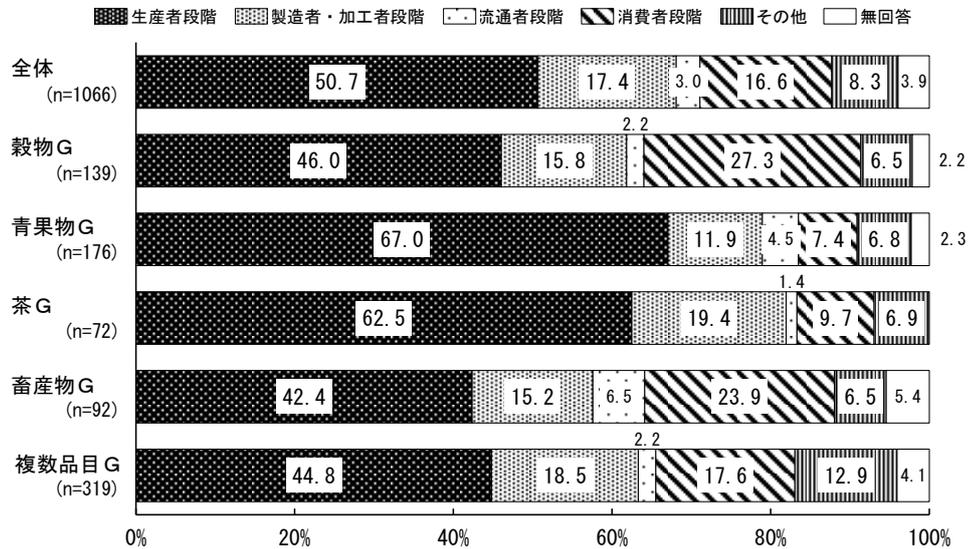
複数品目 G (n=319 (100.0%))



(7) 食品安全リスク対応に要する費用（GAP認証取得費用等）の主な負担者

農畜産物の食品安全リスクへの対応に要する費用（GAP認証取得費用等）を主にどの者が負担すべきかを聞いたところ、回答の最も多かった選択肢は、全体及び全てのグループで「生産者段階」であった。

図2-(7) 食品安全リスク対応に要する費用（GAP認証取得費用等）の主な負担者



(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2-(7)の「全体」と同じ。

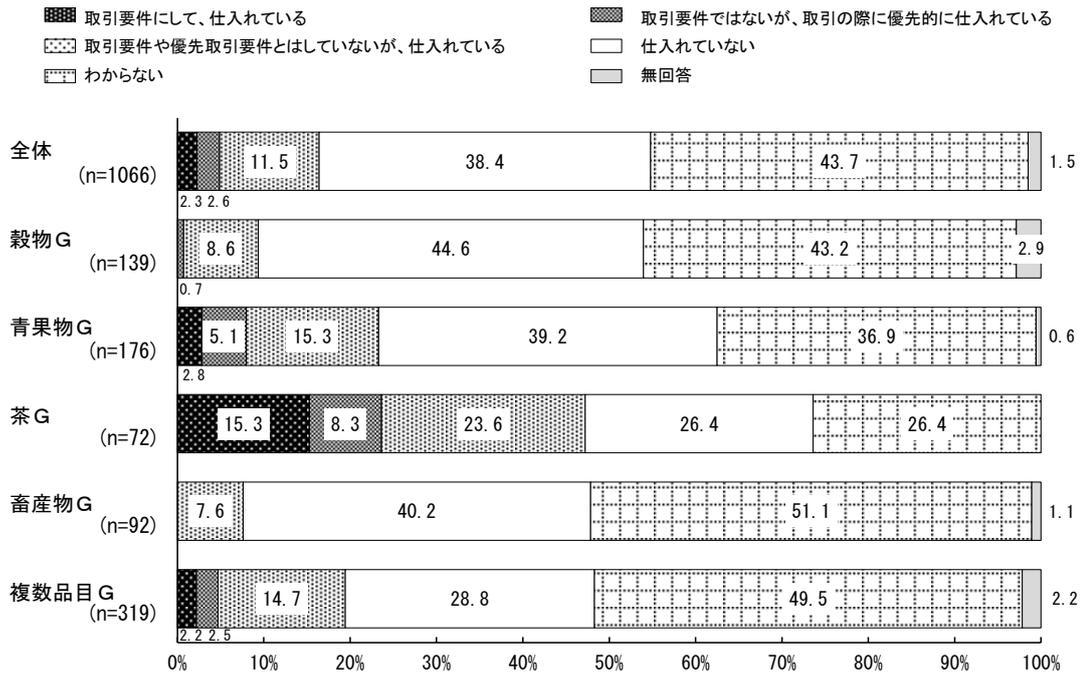
(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各グループの図中の割合を算出するに当たっての分母。

### 3 G A P 認証取得等農畜産物の仕入れについて

#### (1) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの有無

G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの有無について聞いたところ、全体では、「取引要件にして、仕入れている」の選択肢の割合は2.3%、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」2.6%、「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」11.5%であった。なお、茶Gでは、「取引要件にして、仕入れている」、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」及び「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」の割合が、他の品目グループより、いずれも高かった。

図3－(1) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの有無



(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図3－(1)の「全体」と同じ。

(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各グループの図中の割合を算出するに当たっての分母。

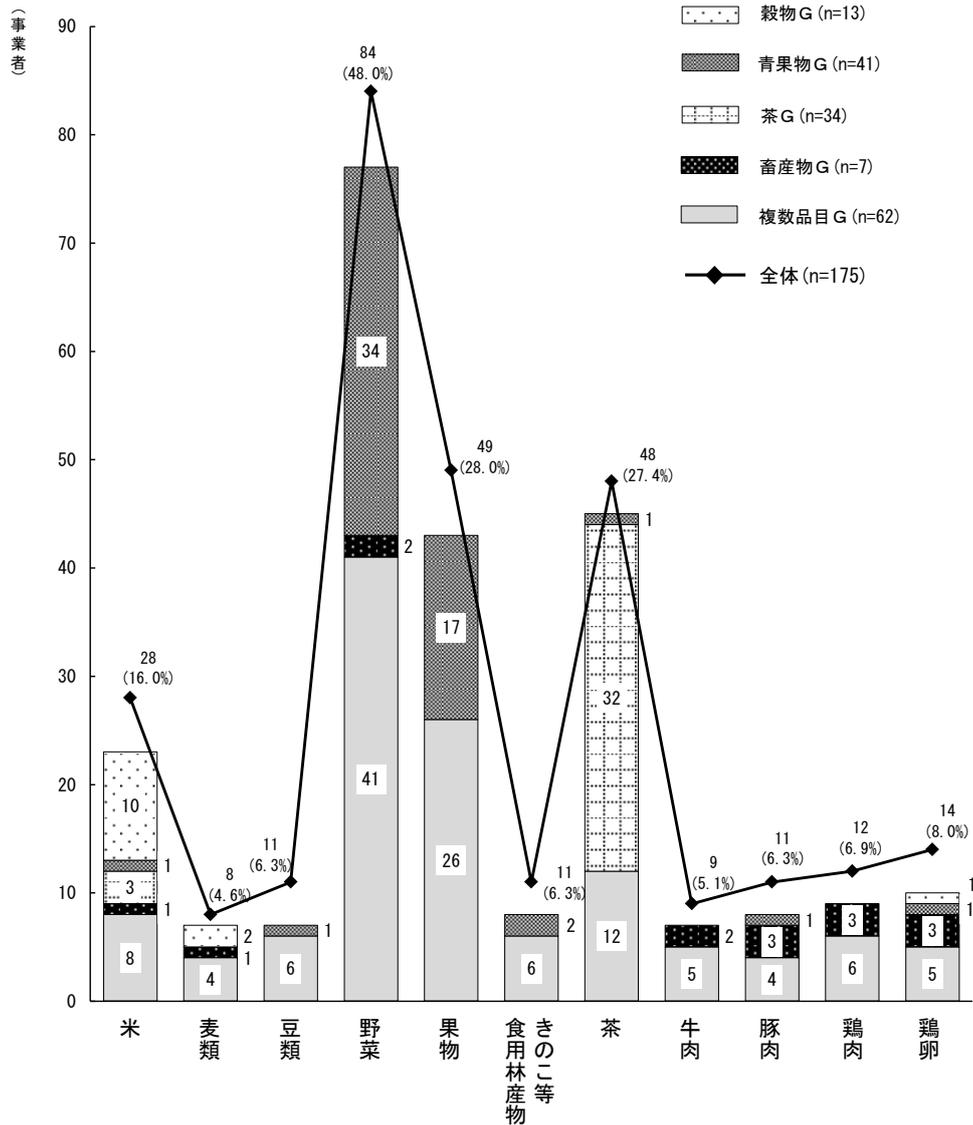
#### 4 G A P 認証取得等農畜産物を仕入れている事業者について

(※3で「取引要件にして、仕入れている」、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」又は「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」と回答した事業者のみ回答。)

##### (1) G A P 認証取得等農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数・国産割合

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者の傾向は、全体と、各品目グループの計とでは概ね同じであった。

図4- (1) G A P 認証取得等農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数



(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図4- (1) -アの「全体」と同じ。

(注) 各品目の割合の算出に当たっての分母は、3で「取引要件にして、仕入れている」、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」又は「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」と回答した事業者の数175。nは各グループの事業者の数で参考値。

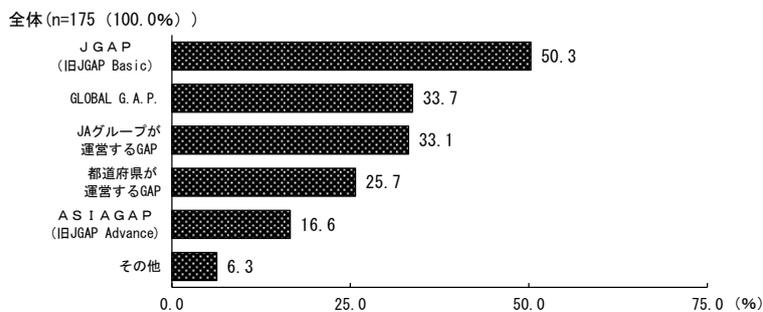
(注) IIの第1における穀物G、青果物G、茶G、畜産物G、複数品目Gは、Vのアンケート調査票の間4に回答し、かつ「その他」の品目の仕入れをしていない事業者であり、「その他」の品目を仕入れた事業者を含まないことから、穀物G、青果物G、茶G、畜産物G及び複数品目Gの計と、全体とは一致しない。

## (2) 仕入れている農畜産物のGAP認証等の種類（複数回答）

GAP認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、仕入れている農畜産物のGAP認証等の種類を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「JGAP（旧JGAP Basic）」の50.3%であった。

（注）図1-(4)-イのとおり、穀物Gは米、麦類及び豆類、青果物Gは野菜、果物及びきこの等食料林産物、茶Gは茶、畜産物Gは牛肉、豚肉、鶏肉及び鶏卵以外の農畜産物の仕入れが認められることから、これらの品目別グループの結果については、その影響の可能性に留意する必要がある。

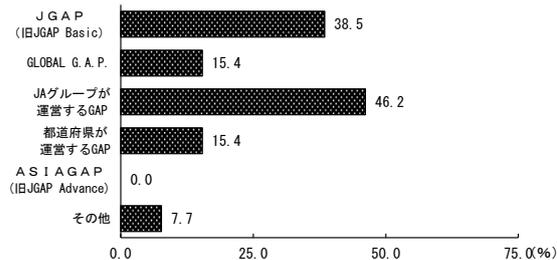
図4-(2) 仕入れている農畜産物のGAP認証取得等の種類（複数回答）



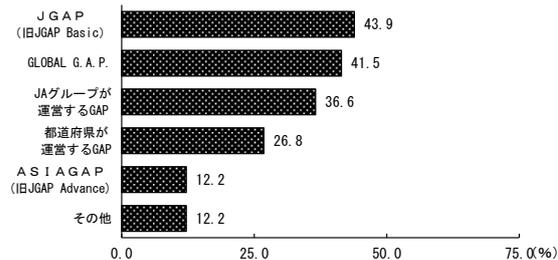
（注）「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図4-(2)の「全体」と同じ。

（注）nは、3で「取引要件にして、仕入れている」、「取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている」又は「取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(2)から(3)の図において同じ。

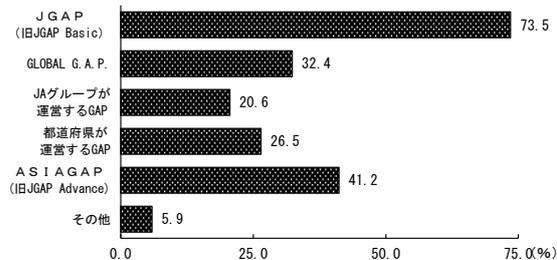
穀物G (n=13 (100.0%))



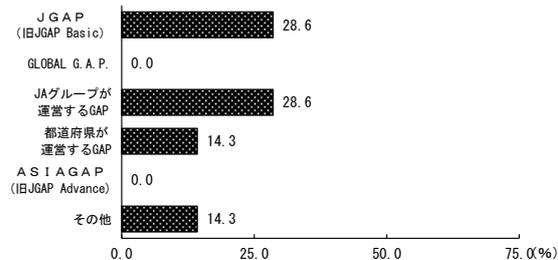
青果物G (n=41 (100.0%))



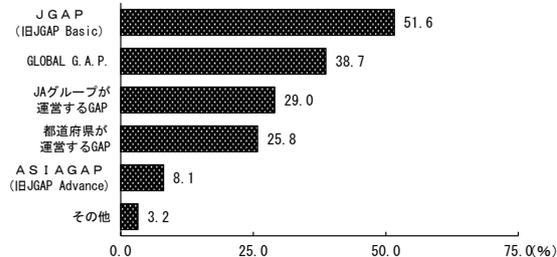
茶G (n=34 (100.0%))



畜産物G (n=7 (100.0%))



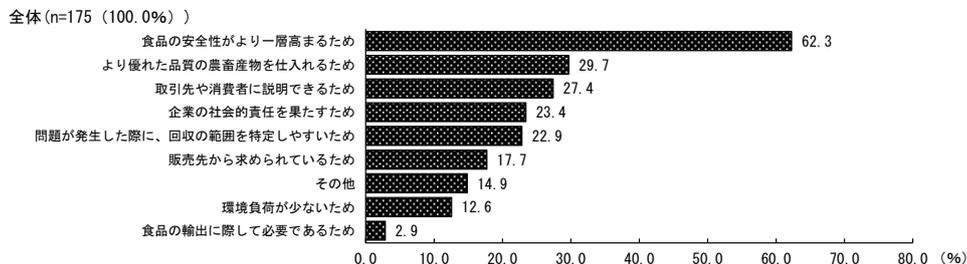
複数品目G (n=62 (100.0%))



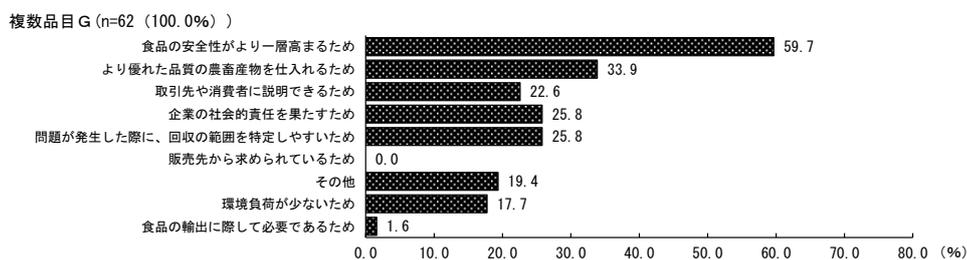
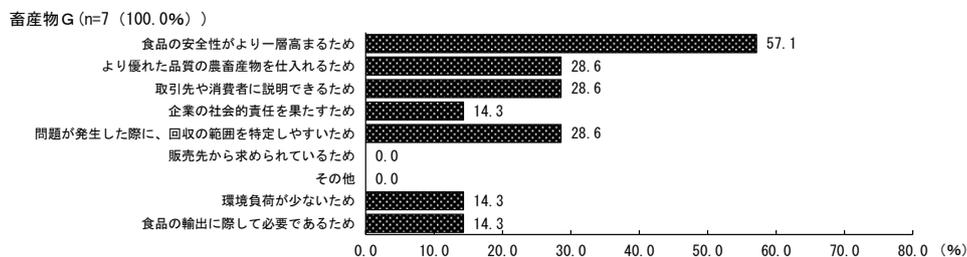
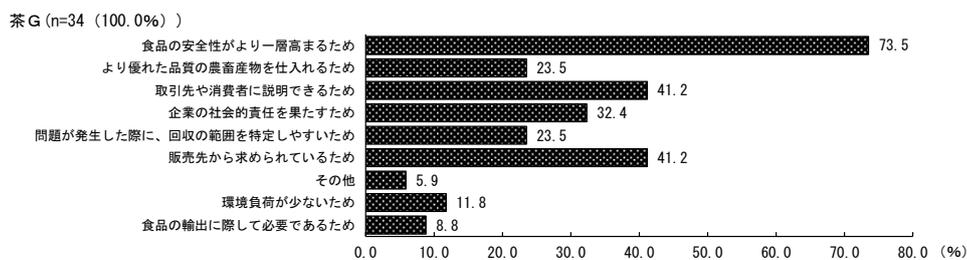
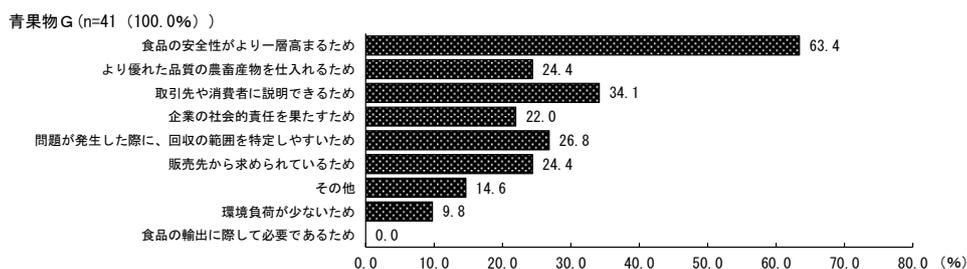
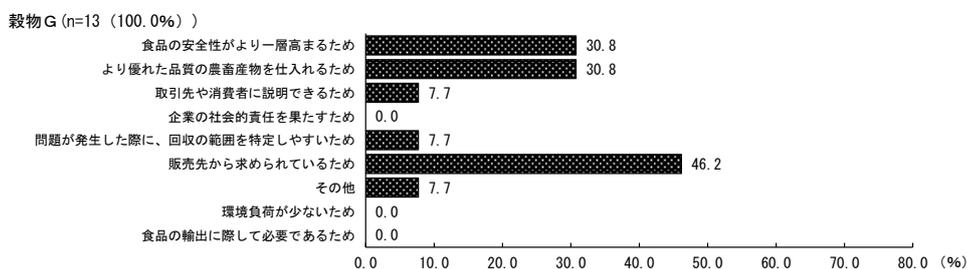
### (3) G A P 認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由（複数回答）

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、仕入れている目的・理由を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「食品の安全性がより一層高まるため」の62.3%であった。なお、穀物Gでは「販売先から求められているため」が最も多かった。

図4－(3) G A P 認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由（複数回答）



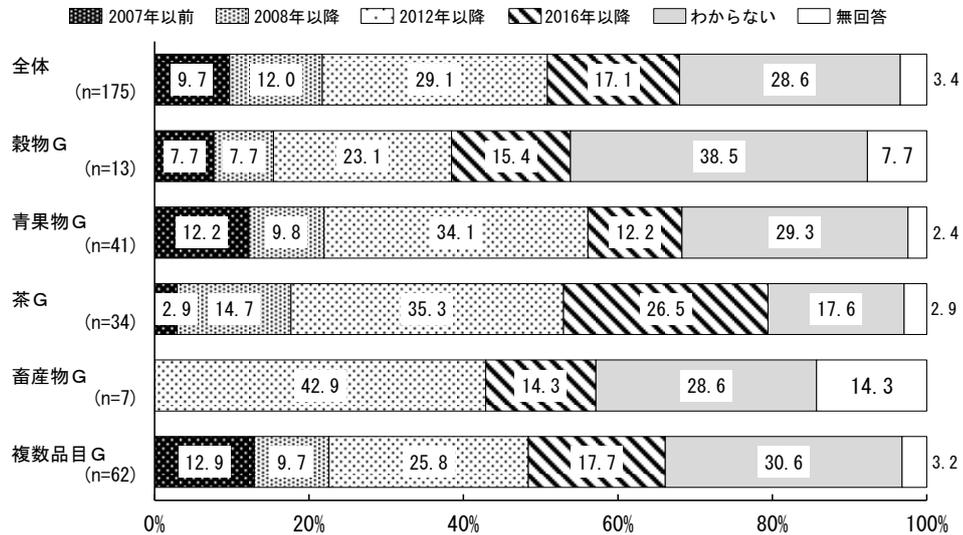
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図4－(3)の「全体」と同じ。



#### (4) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「2008年以降」の29.1%であった。

図 4 - ( 4 ) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの開始時期



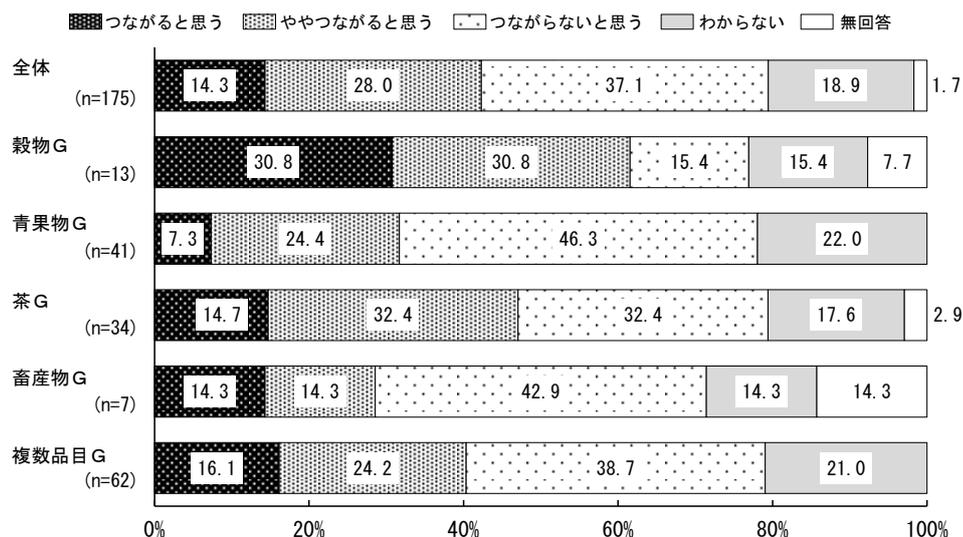
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図4 - (4)の「全体」と同じ。

(注) n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各グループの図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、(4)から(7)の図において同じ。

### (5) G A P 認証取得等農畜産物による安全性・品質に関する確認コストの削減効果

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、G A P 認証取得等農畜産物による安全性及び品質の確認コスト削減効果を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「つながらないと思う」の37.1%であった。なお、穀物Gでは「つながると思う」及び「ややつながると思う」が同率で最も多かった。また、茶Gでは全体と同じく「つながらないと思う」が最も多いが、「ややつながると思う」が同率であった。

図4－(5) G A P 認証取得等農畜産物による安全性・品質に関する確認コストの削減効果

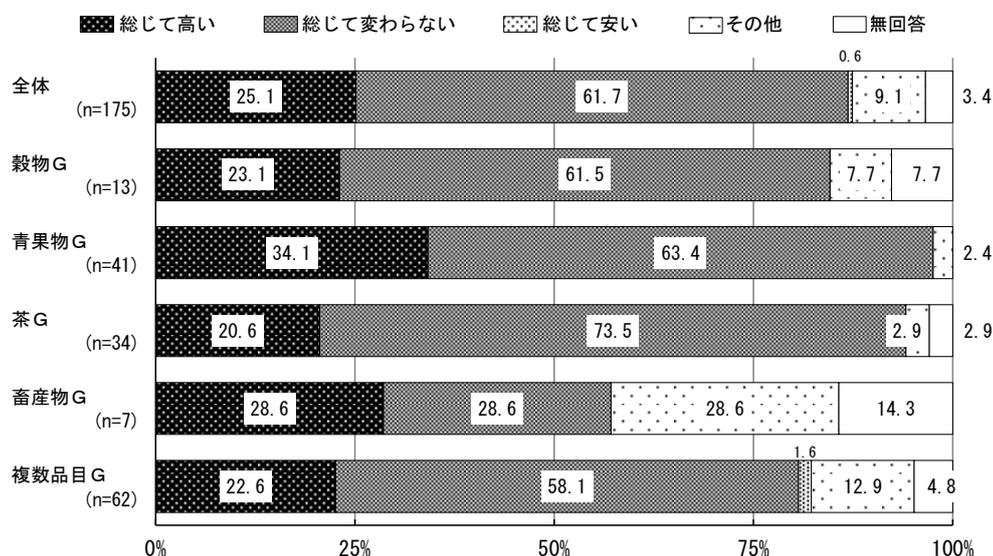


(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図4－(5)の「全体」と同じ。

## (6) G A P 認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、G A P 認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢は、全体及び全ての品目グループで「総じて変わらない」であった。なお、畜産物Gでは、「総じて高い」及び「総じて安い」が「総じて変わらない」と同率の28.6%であった。

図4－(6) G A P 認証取得等農畜産物とそうでない農畜産物の仕入れ単価の差異

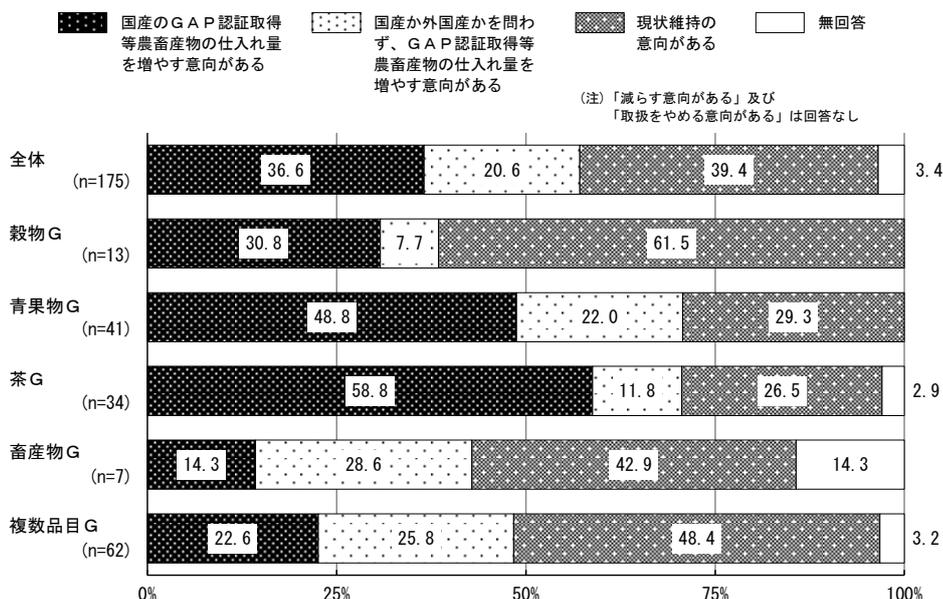


(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図4－(6)の「全体」と同じ。

## (7) G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答した事業者について、G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「現状維持の意向がある」の39.4%であった。なお、「減らす意向がある」及び「取扱いをやめる意向がある」の回答はなかった。

図4－(7) G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向



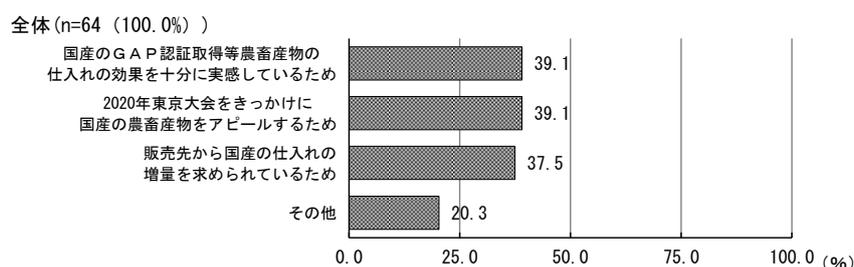
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図4－(7)の「全体」と同じ。

## (8) 国産のGAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）

（※（7）で「国産のGAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者のみ回答。）

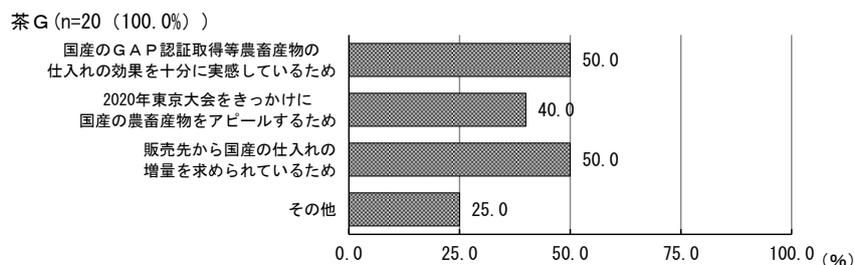
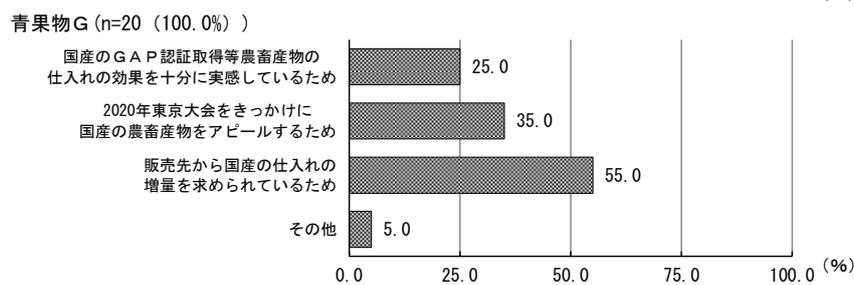
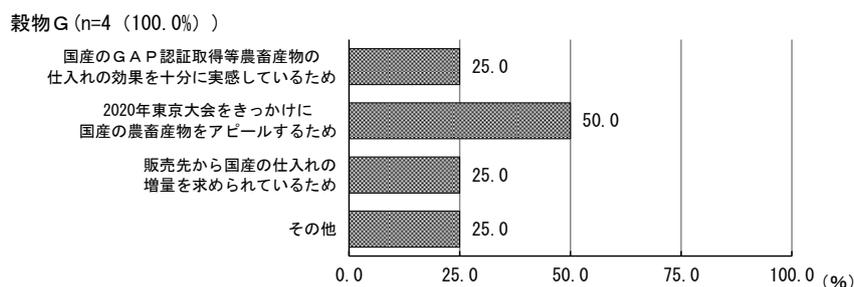
GAP認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答し、かつ、「国産の仕入れ量を増やす意向がある」と回答した事業者について、仕入れ量を増やす理由を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「国産のGAP認証取得等農畜産物の仕入れの効果を十分に実感しているため」及び「2020年東京大会をきっかけに国産の農畜産物をアピールするため」が同率の39.1%であった。なお、回答事業者数が5以上について「その他」の選択肢を除くと、青果物Gでは「販売先から国産の仕入れの増量を求められているため」の選択肢が最も多く、55.0%であった。

図4－（8） 国産のGAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）



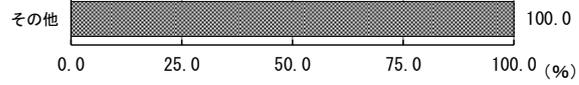
（注）「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図4－（8）の「全体」と同じ。

（注）nは、(7)で「国産のGAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者の数。各選択肢はnが100%。以下、(8)の図において同じ。



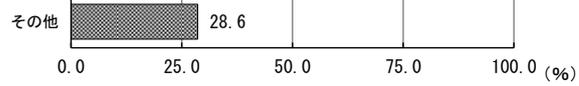
畜産物 G (n=1 (100.0%))

国産のGAP認証取得等農畜産物の  
仕入れの効果を十分に実感しているため  
2020年東京大会をきっかけに  
国産の農畜産物をアピールするため  
販売先から国産の仕入れの  
増量を求められているため



複数品目 G (n=14 (100.0%))

国産のGAP認証取得等農畜産物の  
仕入れの効果を十分に実感しているため  
2020年東京大会をきっかけに  
国産の農畜産物をアピールするため  
販売先から国産の仕入れの  
増量を求められているため

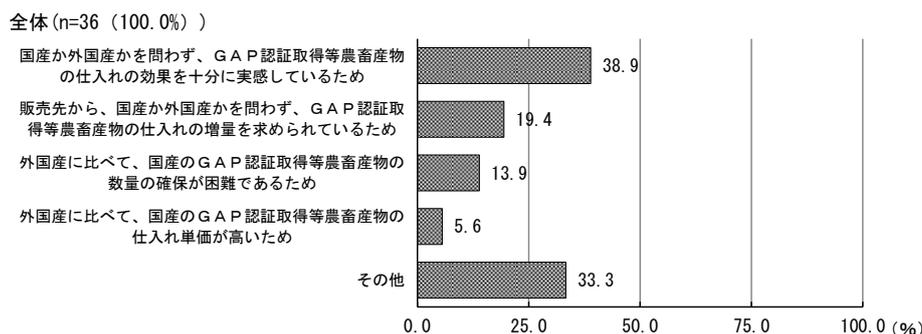


### (9) 国産・外国産のGAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）

（※（7）で「国産か外国産かを問わず、GAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者のみ回答。）

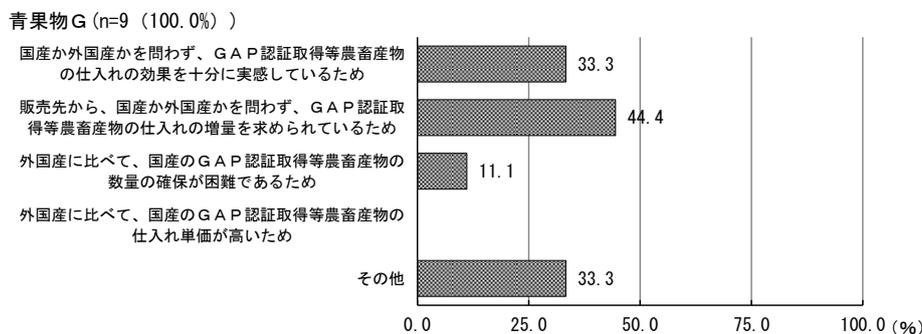
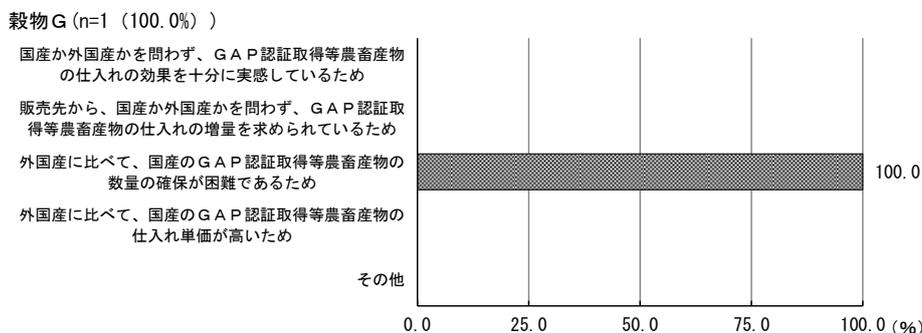
GAP認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答し、かつ、「国産か外国産かを問わず仕入れ量を増やす意向がある」と回答した事業者について、仕入れ量を増やす理由を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「国産か外国産かを問わず、GAP認証取得等農畜産物の仕入れ効果を十分に実感しているため」の38.9%であった。

図4－（9） 国産・外国産のGAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす理由（複数回答）

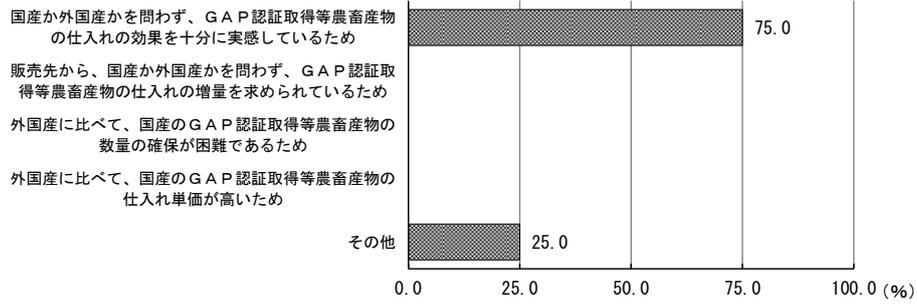


（注）「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図4－（9）の「全体」と同じ。

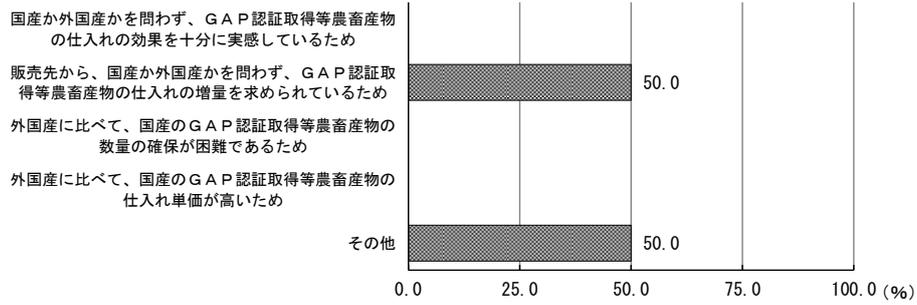
（注）n は、（7）で「国産か外国産かを問わず、GAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するにあたっての分母。以下、（9）の図において同じ。



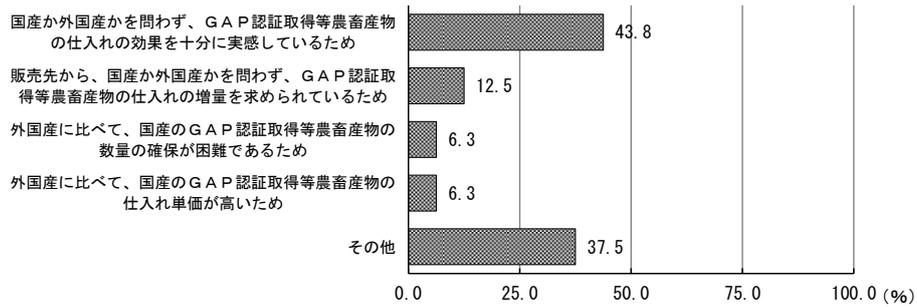
茶 G (n=4 (100.0%))



畜産物 G (n=2 (100.0%))



複数品目 G (n=16 (100.0%))

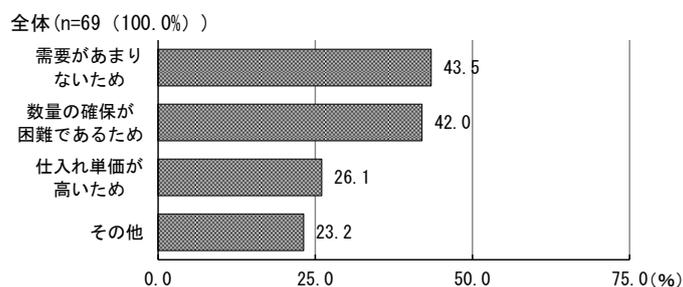


(10) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ量を維持・減少・ゼロとする理由（複数回答）

（※（7）で「現状維持の意向」と回答した事業のみ回答。なお、「減らす意向」及び「取扱をやめる意向」と回答した事業者はいなかった。）

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れている」と回答し、かつ、「仕入れ量を現状維持、減らす及び取扱をやめる意向がある」と回答した事業者について、その理由を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「需要があまりないため」の43.5%で、次いで「数量の確保が困難であるため」の42.0%、「仕入れ単価が高いため」の26.1%であった。なお、穀類Gでは「仕入れ単価が高いため」が最も多く、また、青果物Gでは「需要があまりないため」が最も多かった。

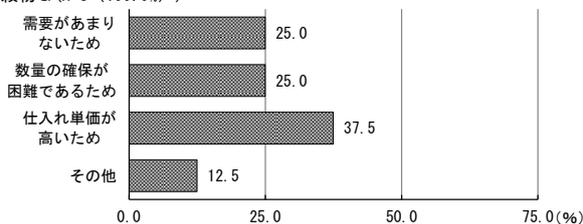
図4－(10) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れ量を維持・減少・ゼロとする理由（複数回答）



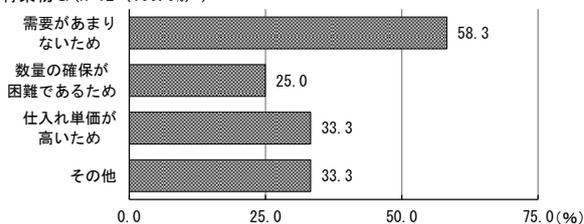
（注）「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図4－(10)の「全体」と同じ。

（注）nは、（7）で「現状維持の意向」、「減らす意向」又は「取扱をやめる意向」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(10)の図において同じ。

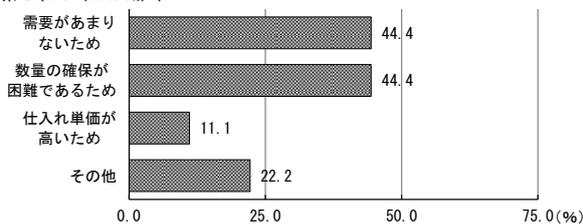
穀物G (n=8 (100.0%))



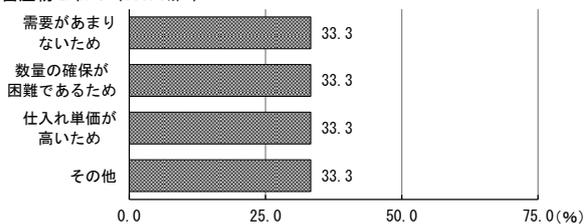
青果物G (n=12 (100.0%))



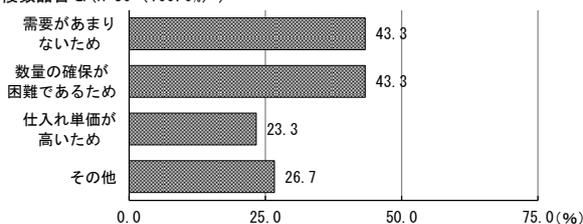
茶G (n=9 (100.0%))



畜産物G (n=3 (100.0%))



複数品目G (n=30 (100.0%))



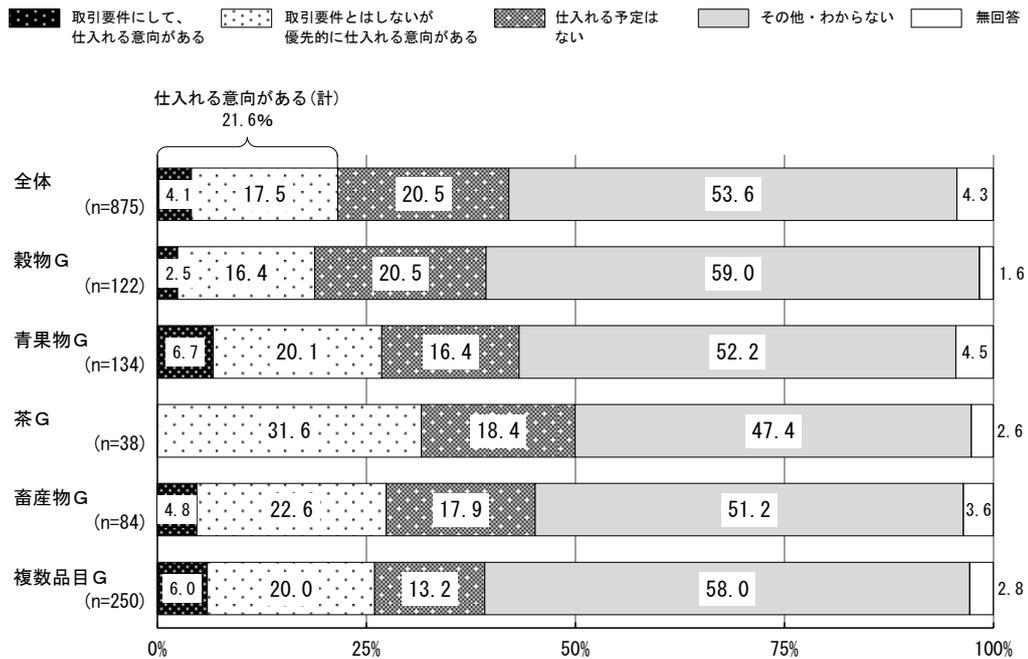
## 5 G A P 認証取得等農畜産物を仕入れていない事業者について

(※3で「仕入れていない」又は「わからない」と回答した事業者のみ回答。)

### (1) G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答した事業者について、G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向を聞いたところ、「取引要件にして、仕入れ意向がある」の選択肢の割合は全体では4.1%であった。

図5－(1) G A P 認証取得等農畜産物の今後の仕入れに関する意向



(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図5－(1)の「全体」と同じ。

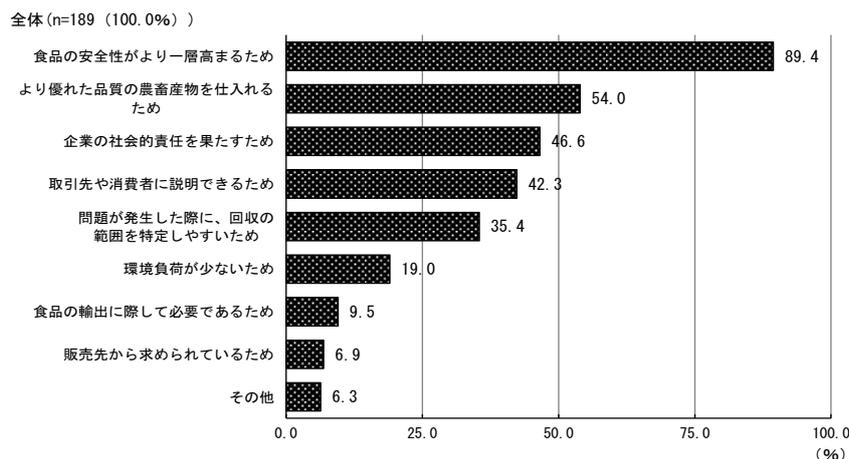
(注) nは、3で「仕入れていない」又は「わからない」と回答した事業者の数で、各選択肢の図中の割合を算出するに当たっての分母。

## (2) G A P 認証取得等農畜産物を仕入れることを検討している目的・理由（複数回答）

（※（1）で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。）

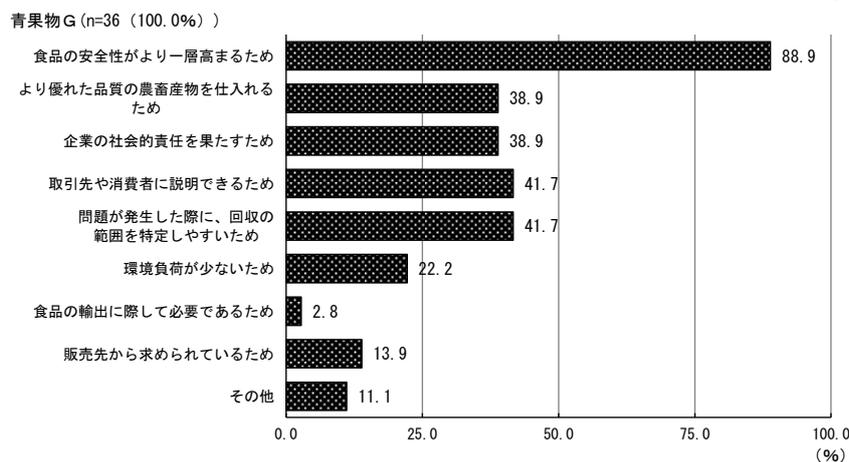
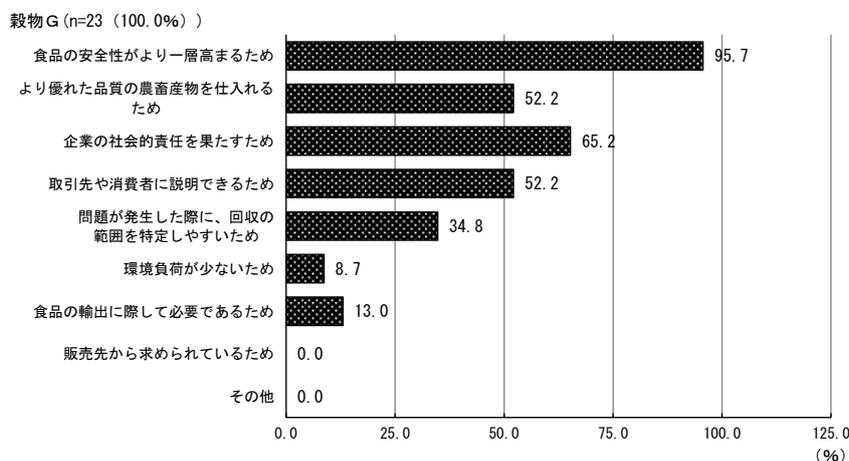
G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答し、かつ、「仕入れる意向がある」と回答した事業者について、その目的・理由を聞いたところ、回答の多かった選択肢は、全体及び全ての品目グループで「食品の安全がより一層高まるため」が最も高かった。

図5－（2） G A P 認証取得等農畜産物を仕入れることを検討している目的・理由（複数回答）

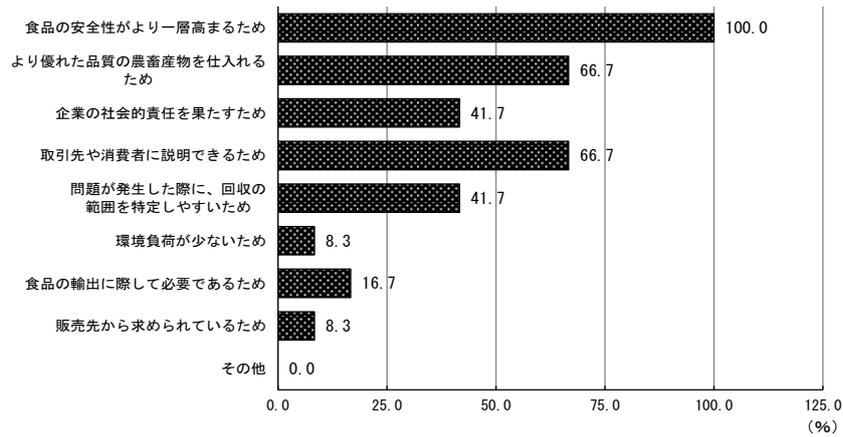


（注）「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図5－（2）の「全体」と同じ。

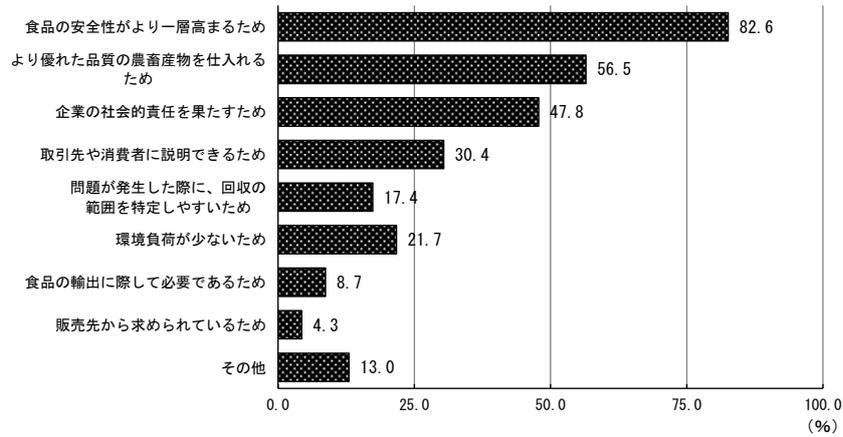
（注）n は、(1)で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(2)から(4)の図において同じ。



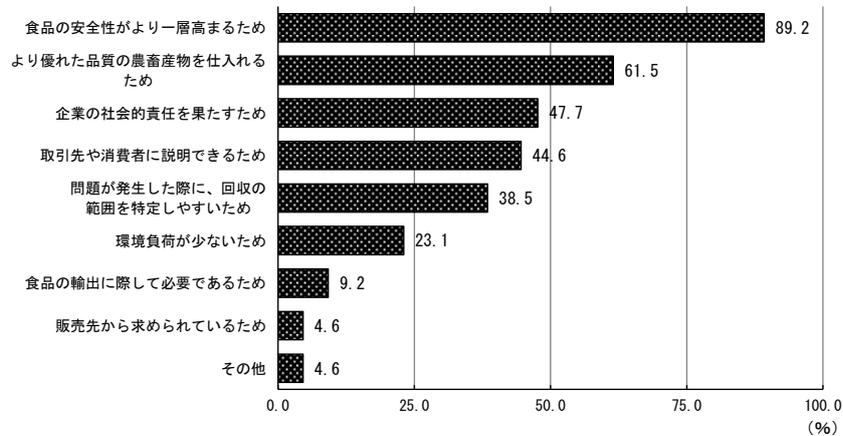
茶 G (n=12 (100.0%) )



畜産物 G (n=23 (100.0%) )



複数品目 G (n=65 (100.0%) )

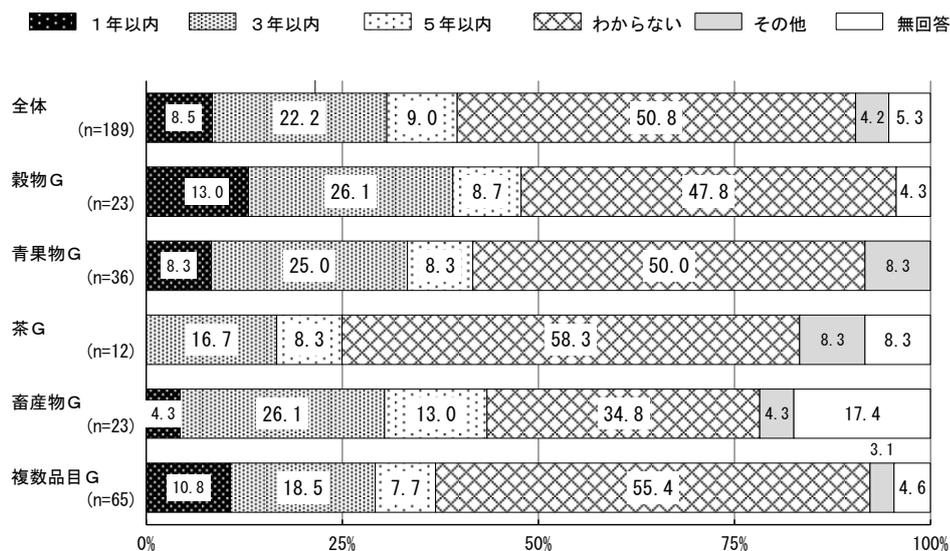


### (3) G A P 認証取得等農畜産物の検討している仕入れ開始時期

(※(1)で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。)

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答し、かつ、「仕入れる意向がある」と回答した事業者について、その仕入れ開始時期を聞いたところ、全体及び全てのグループで「わからない」の選択肢が最も多く、次いで「3年以内」の選択肢が多かった。

図5－(3) G A P 認証取得等農畜産物の検討している仕入れ開始時期



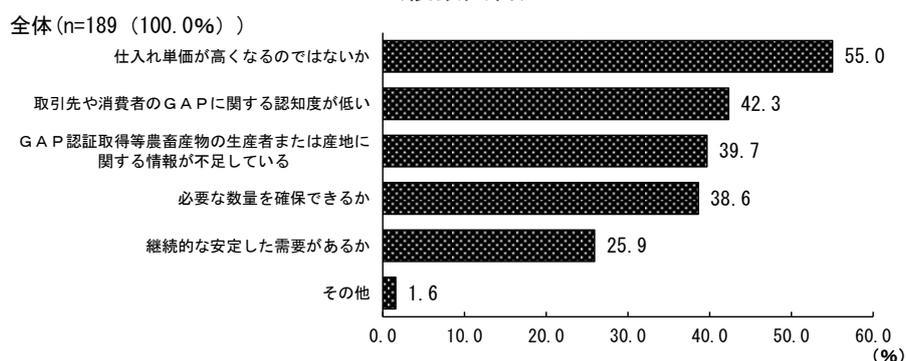
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図5－(3)の「全体」と同じ。

#### (4) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの準備・検討段階における問題点（複数回答）

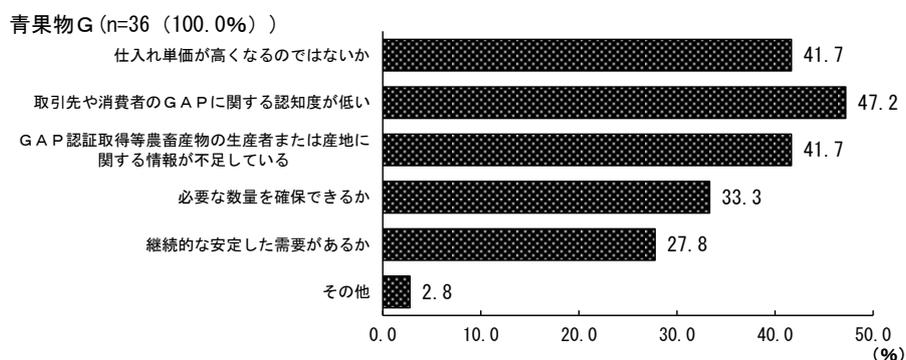
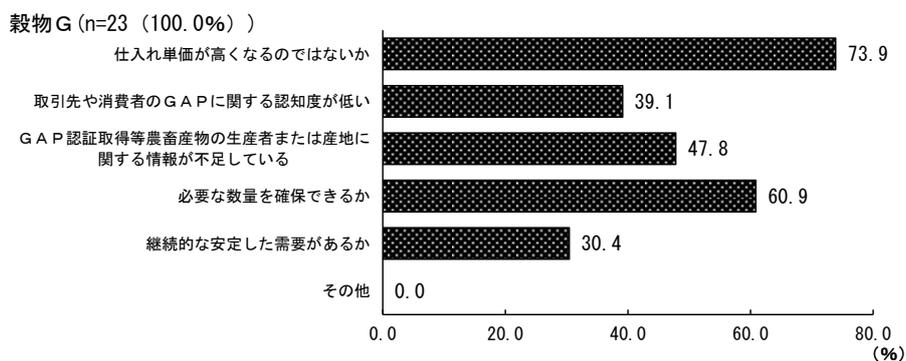
（※(1)で「取引要件にして、仕入れる意向がある」又は「取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある」と回答した事業者のみ回答。）

G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答し、かつ、「仕入れる意向がある」と回答した事業者について、その仕入れの準備・検討段階における問題点を聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「仕入れ単価が高くなるのではないかな」の 55.0%であった。なお、青果物Gでは「取引先や消費者のG A Pに関する認知度が低い」が最も多く、また、畜産物Gでは「G A P 認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足している」が最も多かった。

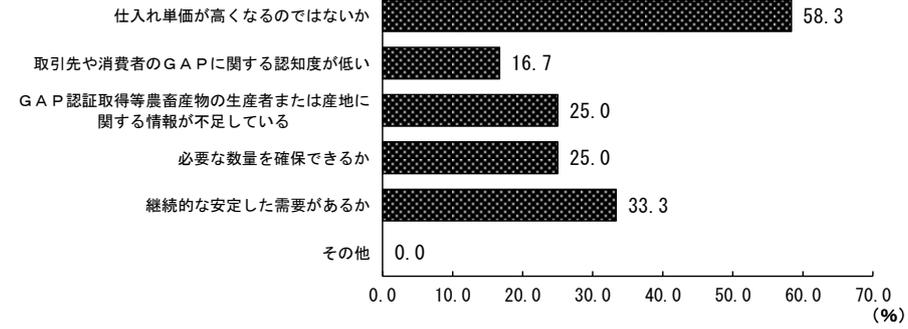
図 5 - ( 4 ) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れの準備・検討段階における問題点  
(複数回答)



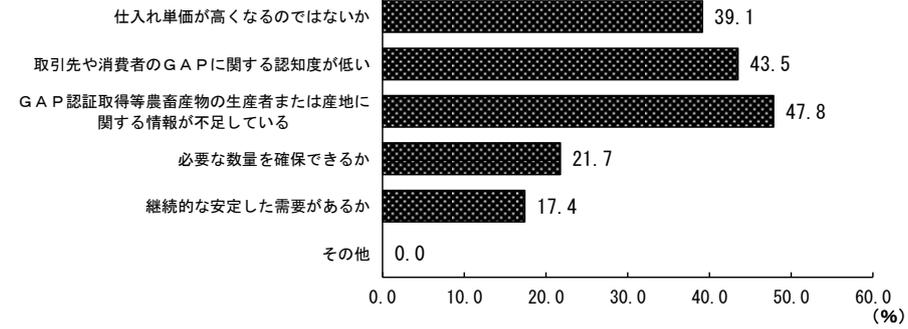
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図 5 - ( 4 ) の「全体」と同じ。



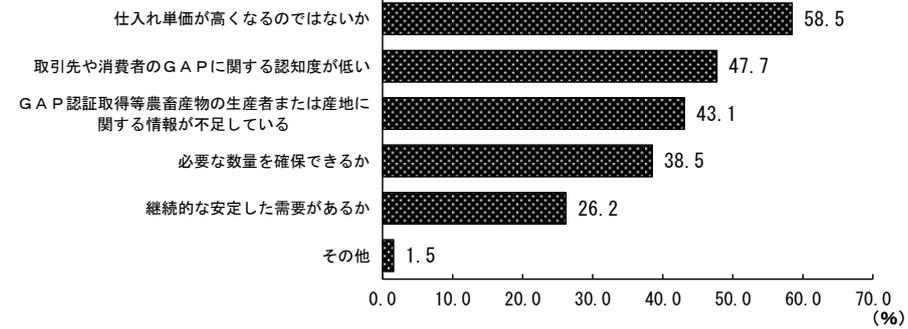
茶 G (n=12 (100.0%))



畜産物 G (n=23 (100.0%))



複数品目 G (n=65 (100.0%))

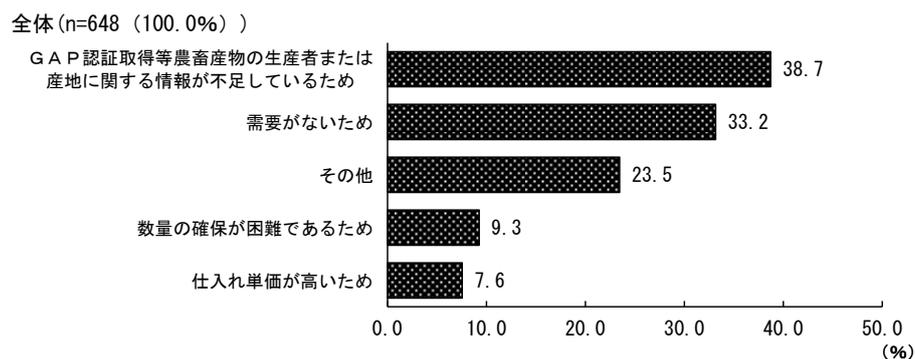


### (5) G A P 認証取得等農畜産物の仕入れを行わない理由（複数回答）

（※（1）で「仕入れる予定はない」又は「その他・わからない」と回答した事業者のみ回答。）

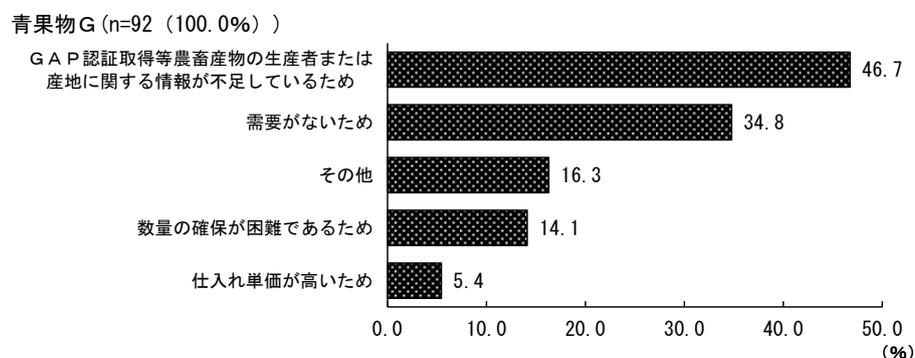
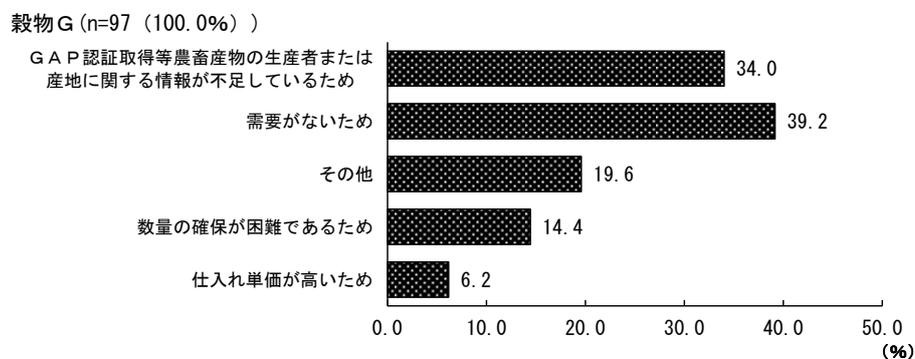
G A P 認証取得等農畜産物を「仕入れていない」又は「わからない」と回答し、かつ、今後の意向について「仕入れる予定はない」又は「その他・わからない」と回答した事業者について、その理由を聞いたところ、回答の多かった選択肢及びその割合は、全体では「G A P 認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足しているため」の38.7%であった。なお、全体と異なり、穀類G及び茶Gでは、「需要がないため」が最も多かった。

図5－（5） G A P 認証取得等農畜産物の仕入れを行わない理由（複数回答）

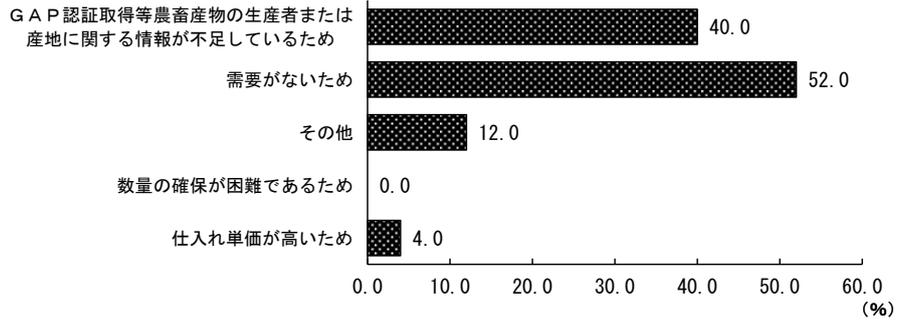


（注）「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図5－（5）の「全体」と同じ。

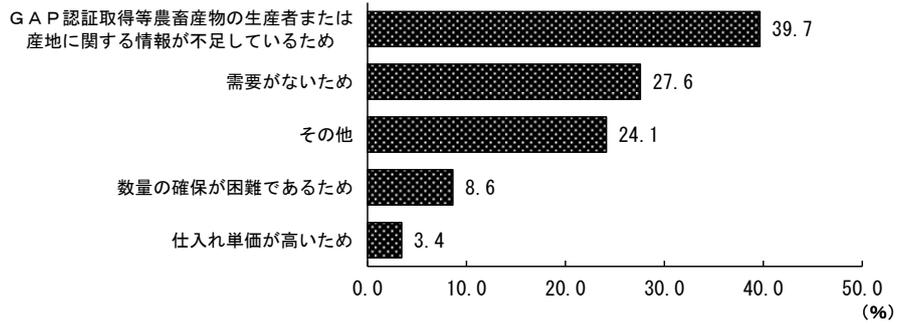
（注）nは、（1）で「仕入れる予定はない」又は「その他・わからない」と回答した事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(5)の図において同じ。



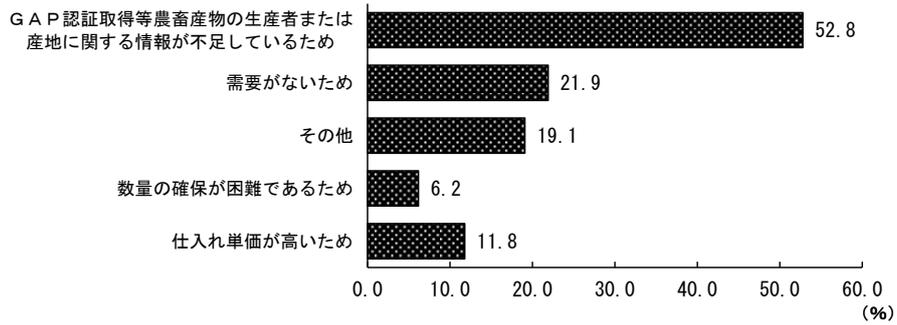
茶 G (n=25 (100.0%) )



畜産物 G (n=58 (100.0%) )



複数品目 G (n=178 (100.0%) )



## 第2 GAP認証取得等農畜産物の仕入れグループ別

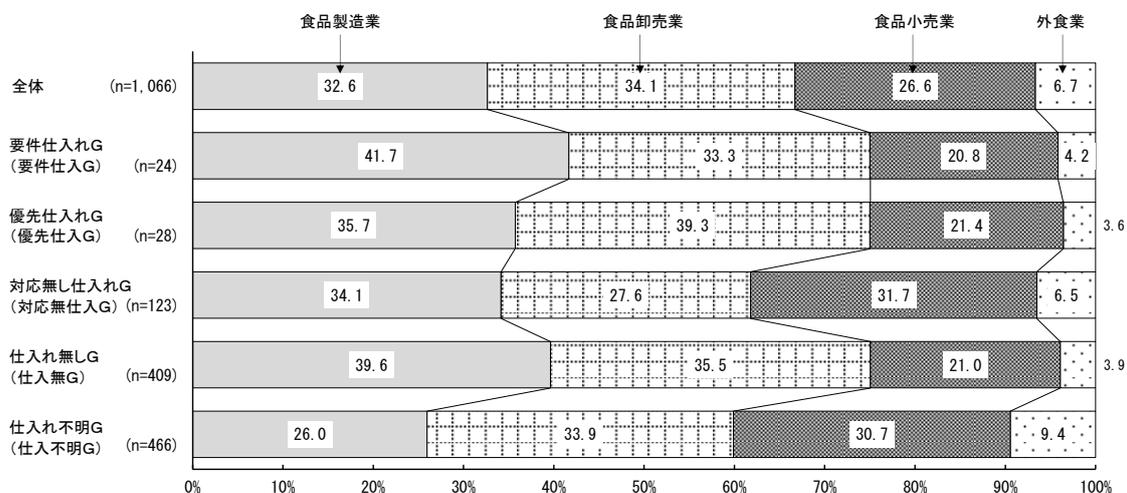
【注】第2において、「GAP認証取得等農畜産物の仕入れグループ」を「グループ」という。また、第2の文中において、「要件仕入れG」を「要件仕入G」、「優先仕入れG」を「優先仕入G」、「対応無し仕入れG」を「対応無G」、「仕入れ無しG」を「仕入無G」、「仕入れ不明G」を「仕入不明G」という。

### 1 基本情報

#### (1) 食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別の回収状況

業種について回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「食品卸売業」の34.1%であった。

図1－(1) 食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別の回収状況



(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの1の(1)における食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業の有効回答数を基に整理したもの。

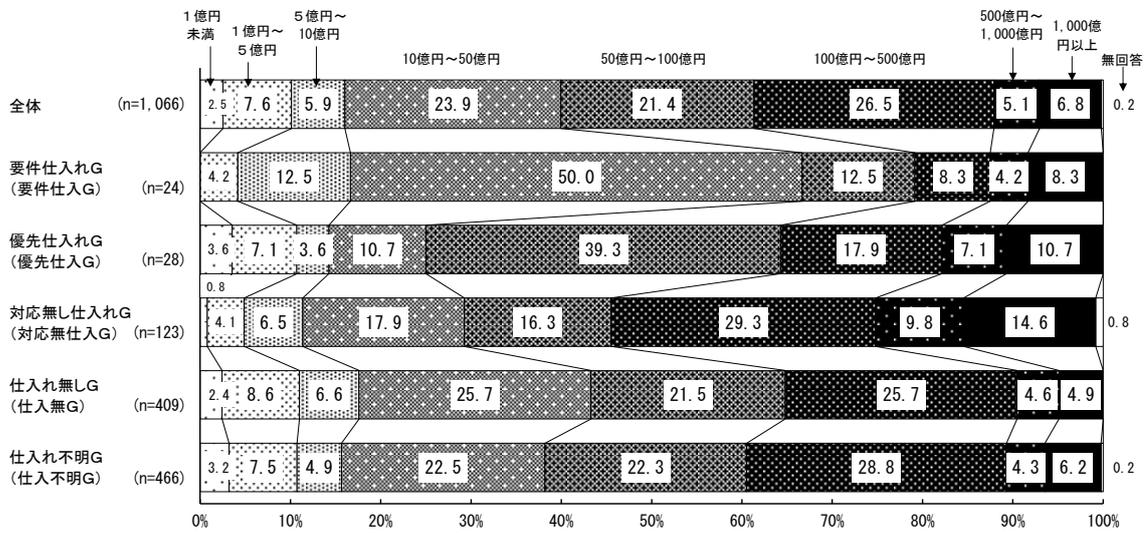
(注)「全体」のnは有効回答票の送付のあった事業者の数、その他のnは各グループの事業者の数で、図中の割合を算出するにあたっての分母。「全体」のnは、各グループの計と一致しない。以下、(1)から(4)の図において同じ。

(注)割合は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。以下同じ。

## (2) 販売金額規模

販売金額規模について回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「100 億円以上 500 億円未満」の 26.5%であった。

図 1 - (2) 販売金額規模

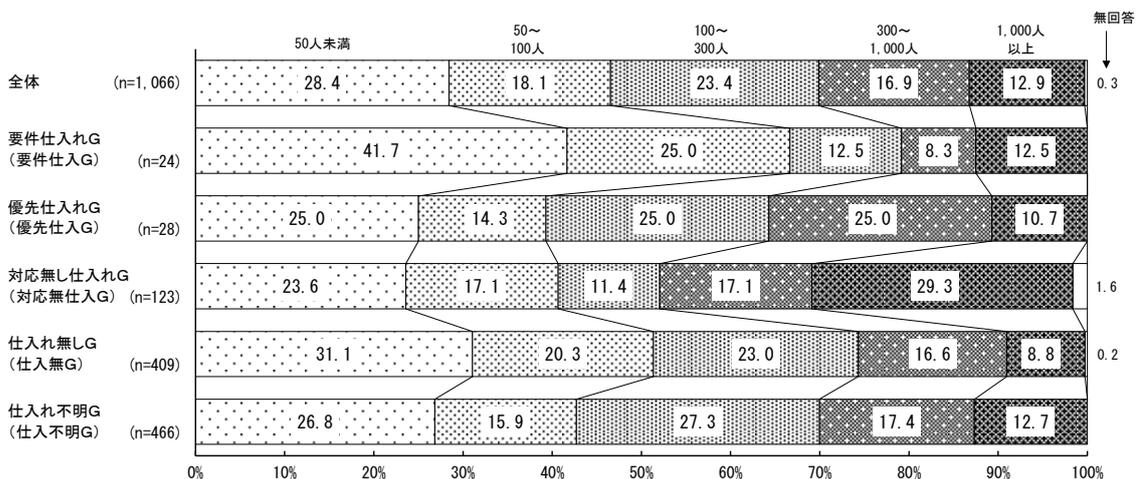


(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図 1 - (2)の「全体」と同じ。

## (3) 従業員数規模

従業員数規模について回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「50 人未満」の 28.4%であった。なお、要件仕入Gでは、「50 人未満」の割合が 41.7%、「50 人以上 100 人未満」の割合が 25.0%であった。

図 1 - (3) 従業員数規模

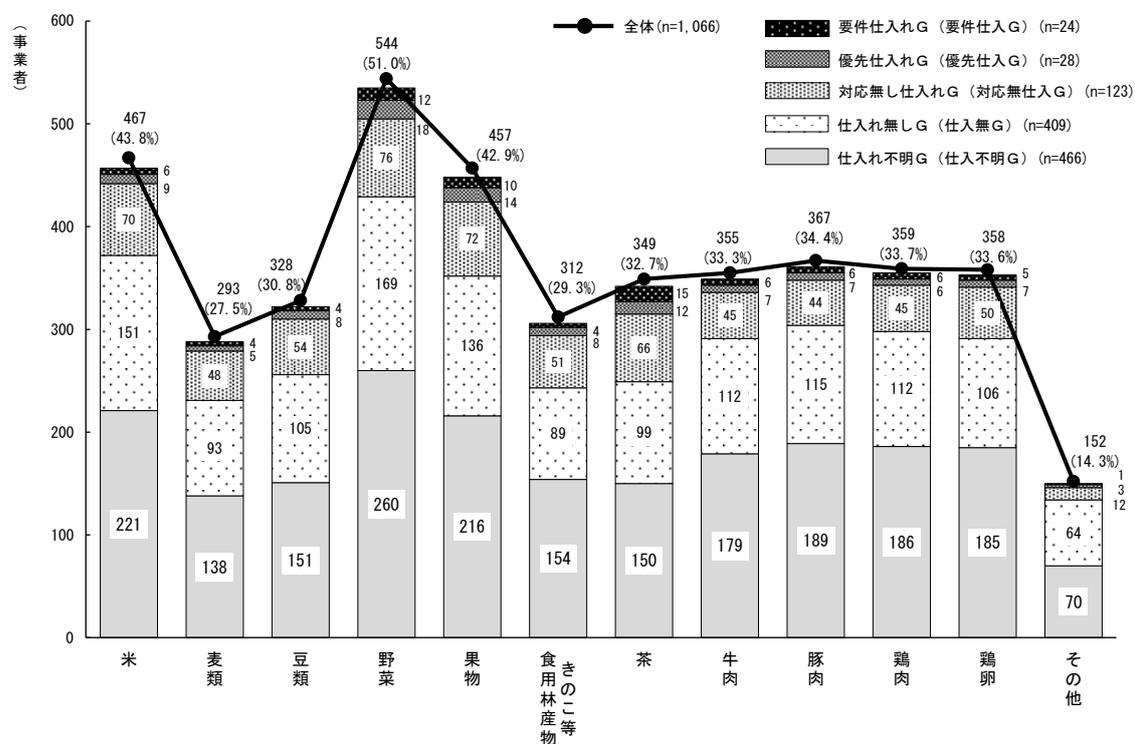


(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図 1 - (3)の「全体」と同じ。

#### (4) 農畜産物の品目別仕入れ状況

仕入れをしている農畜産物について回答の傾向は、全体と、各グループの計とは同じであった。

図1-(4)-ア 農畜産物の品目別仕入れ「有」の事業者数



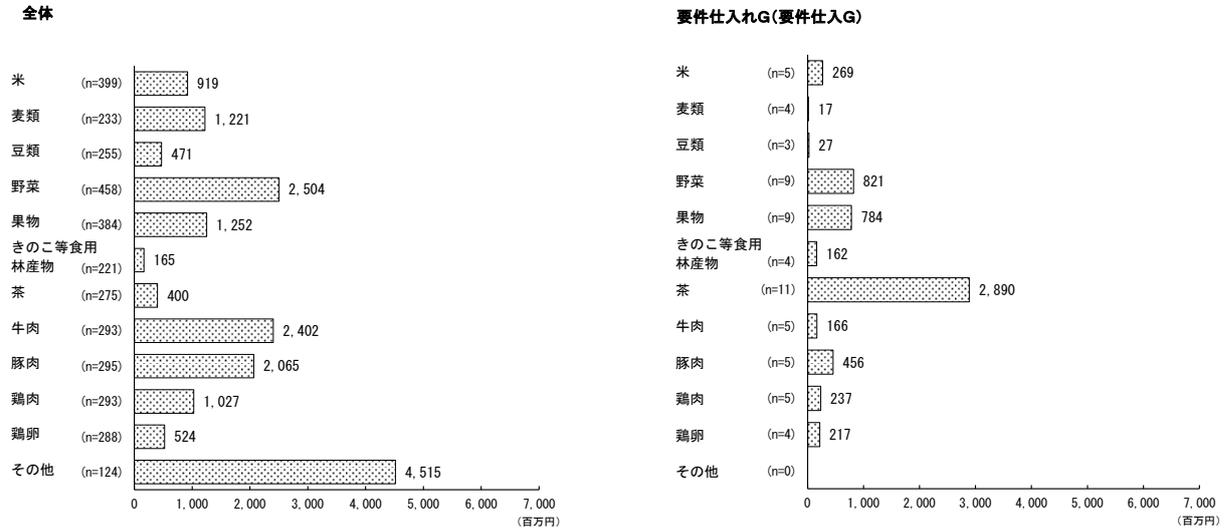
(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図1-(4)-アの「全体」と同じ。

(注) 全体の割合を算出するにあたっての分母は、有効回答票の送付のあった事業者の数1,066。nは各グループの事業者の数で参考値。

(注) Ⅱの第2における要件仕入G、優先仕入G、対応無仕入G、仕入無G、仕入不明Gは、Vのアンケート調査票の問14に回答した事業者であり、回答しなかった事業者を含まないことから、要件仕入G、優先仕入G、対応無仕入G、仕入無G、仕入不明Gの計と、全体とは一致しない。

仕入れをしている農畜産物について年間の仕入れ額を品目ごとに聞いたところ、事業者別の平均額は、全体では「野菜」の2,504百万円が最も高かった。なお、要件仕入Gでは「茶」の平均額が、優先仕入Gでは「野菜」の平均額が最も高かった。

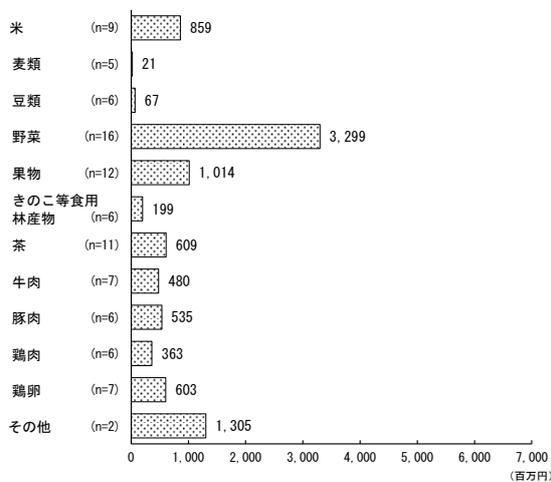
図1-(4)-イ 農畜産物の一事業者あたりの品目別年間仕入れ額



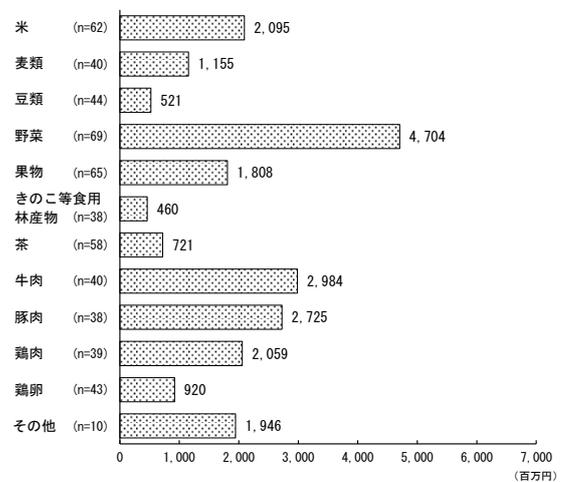
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図1-(4)-イの「全体」と同じ。

(注)nは(4)で各品目の仕入れを「有」とし、かつ、仕入れ額の回答のあった事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、図1-(4)-イの図において同じ。

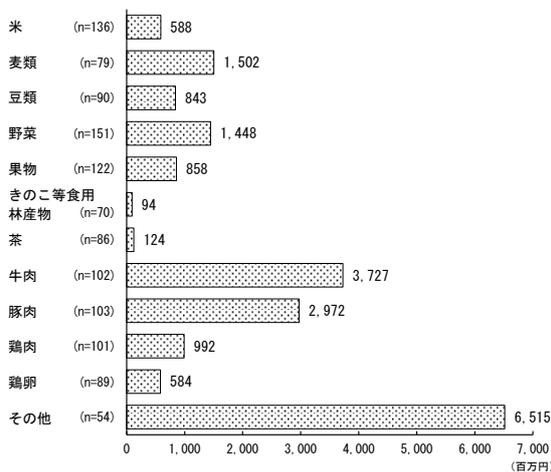
優先仕入G(優先仕入G)



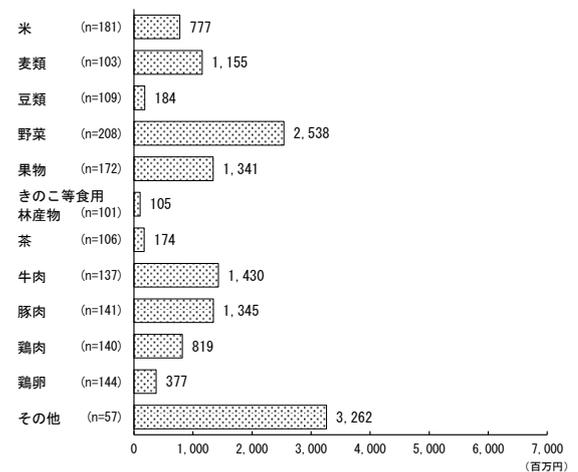
対応無し仕入れG(対応無し仕入G)



仕入れ無しG(仕入れ無しG)



仕入れ不明G(仕入れ不明G)

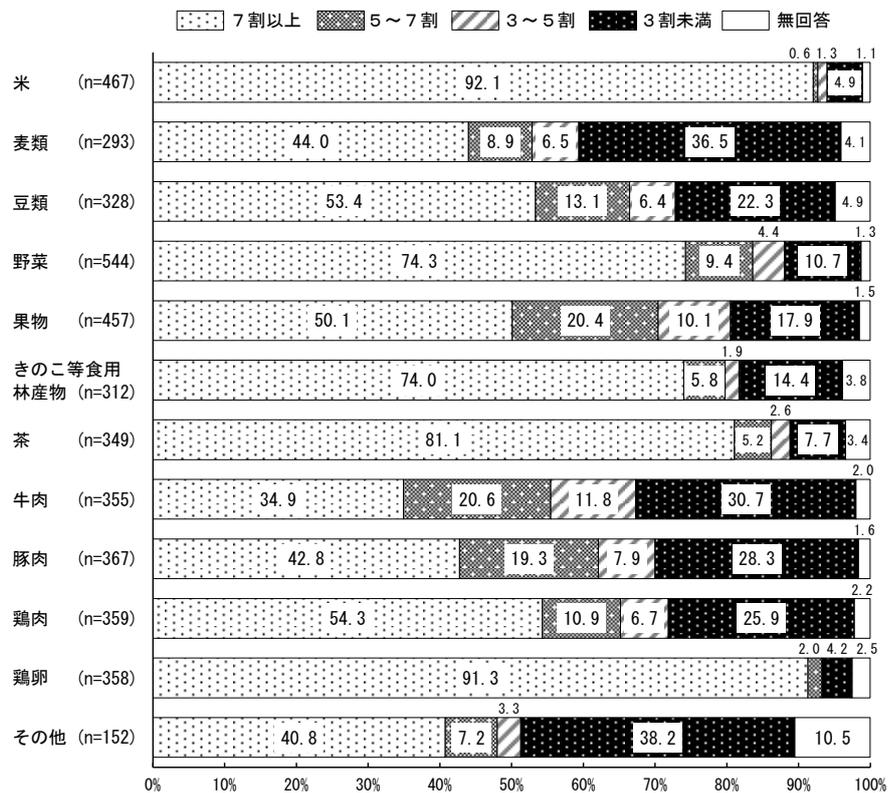


## (5) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合

(※ (4) で仕入れ「有」と回答した事業者のみ集計。)

農畜産物の仕入れの質問に対して、「仕入れあり」と回答した事業者について、その国産の割合を品目ごとに聞いたところ、「7割以上」という回答が最も多かった品目及びその割合は、回答事業者が5以上の場合、全体では「米」の92.1%であった。

図1－(5) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合  
全体

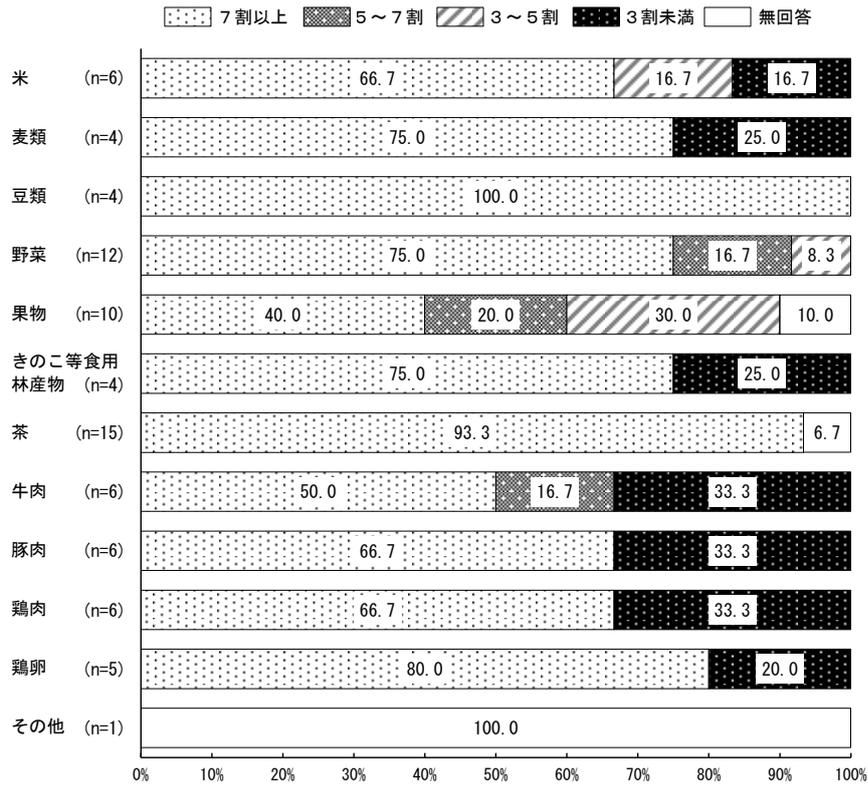


(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図1－(5)の「全体」と同じ。

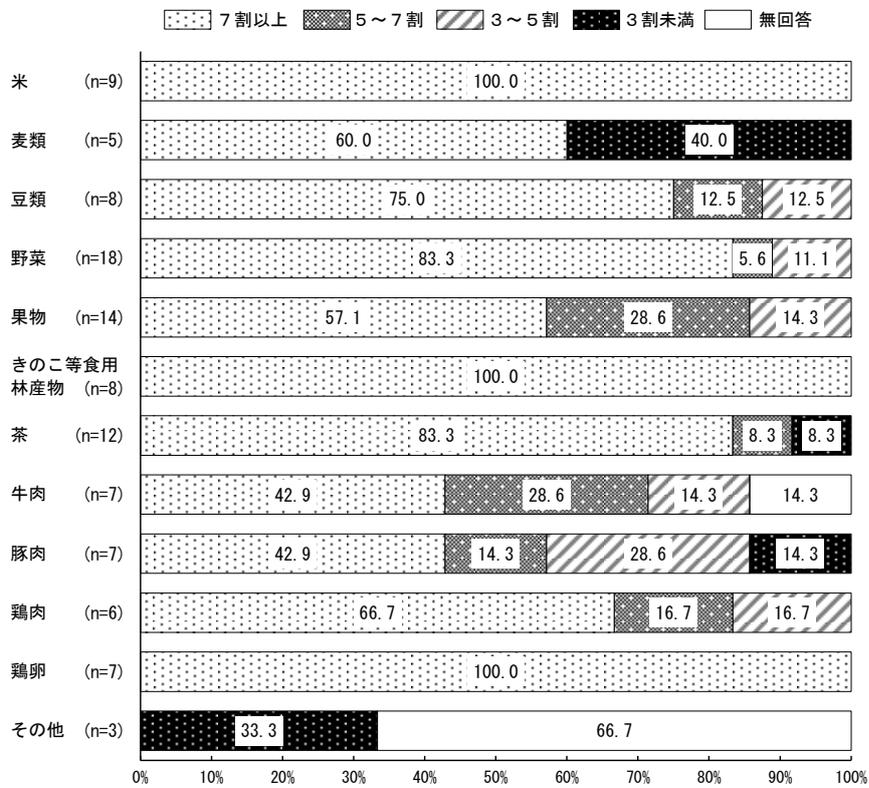
(注) nは(4)で各品目の仕入れを「有」と回答した事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。

以下、(5)の図において同じ。

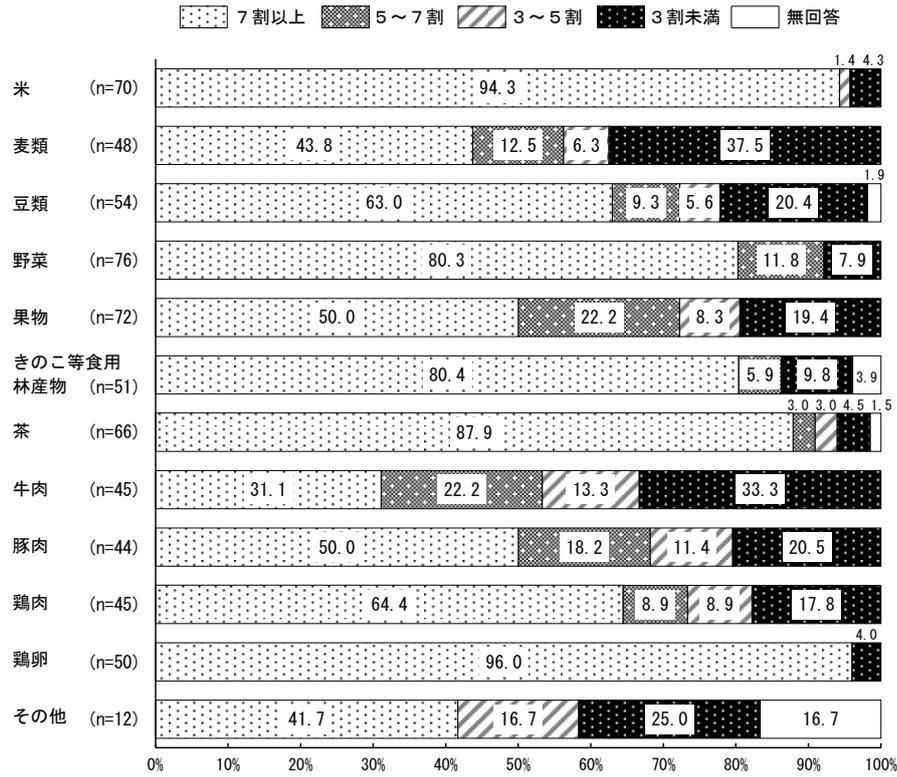
要件仕入れG（要件仕入G）



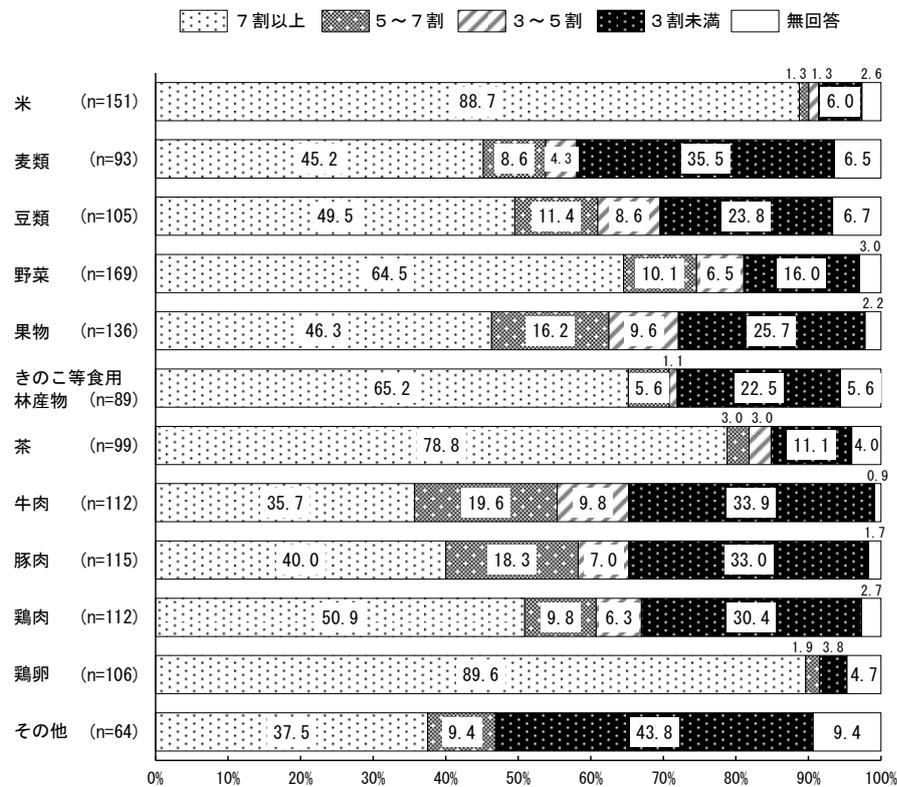
優先仕入れG（優先仕入G）



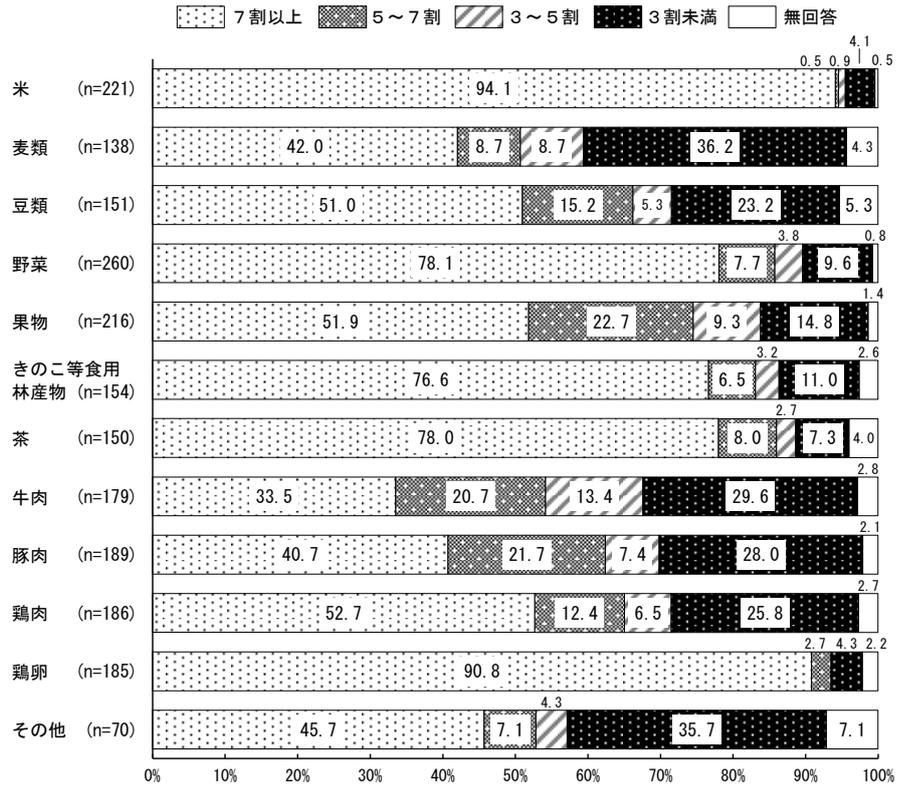
対応無し仕入れG（対応無し仕入G）



仕入れ無しG（仕入無しG）



仕入れ不明G（仕入不明G）

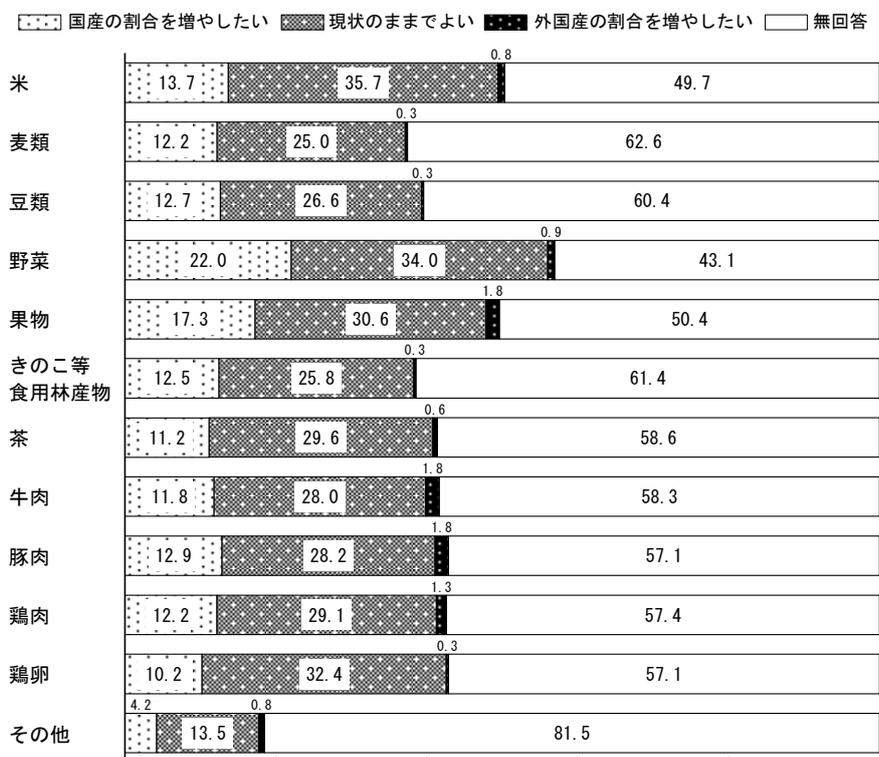


### (6) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向

農畜産物の今後の国産・外国産の仕入れの意向を品目ごとに聞いたところ、「国産の割合を増やしたい」と回答した品目の傾向は、全体及び全てのグループにおいて「野菜」であった。

図1－(6) 農畜産物の仕入れにおける品目別国産割合に関する今後の意向

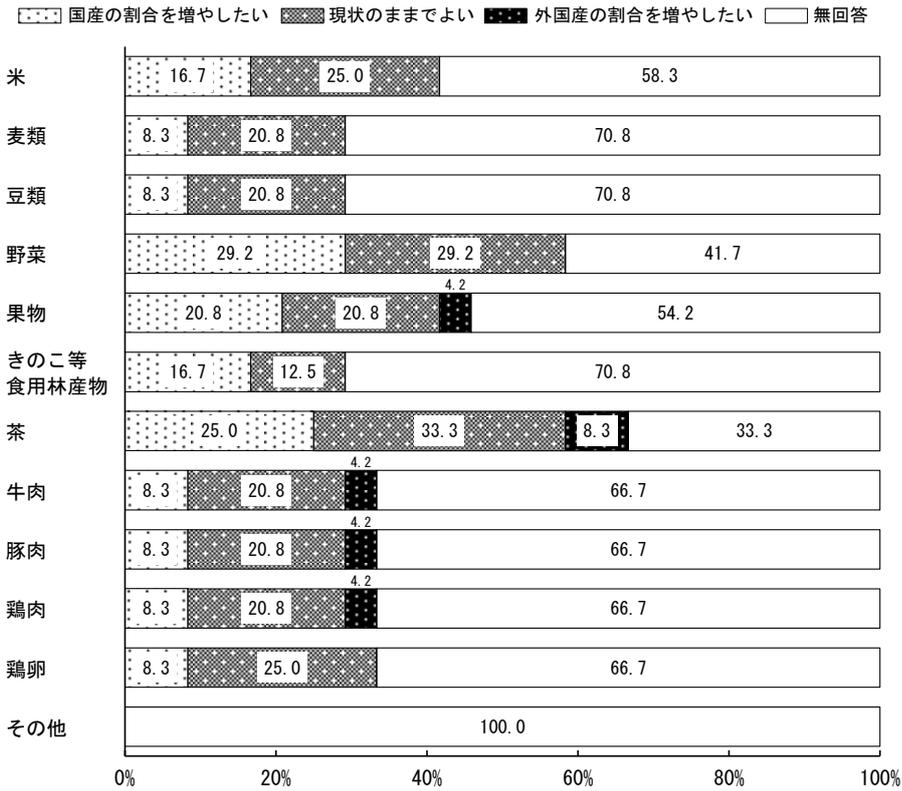
全体 (n=1,066(100.0%))



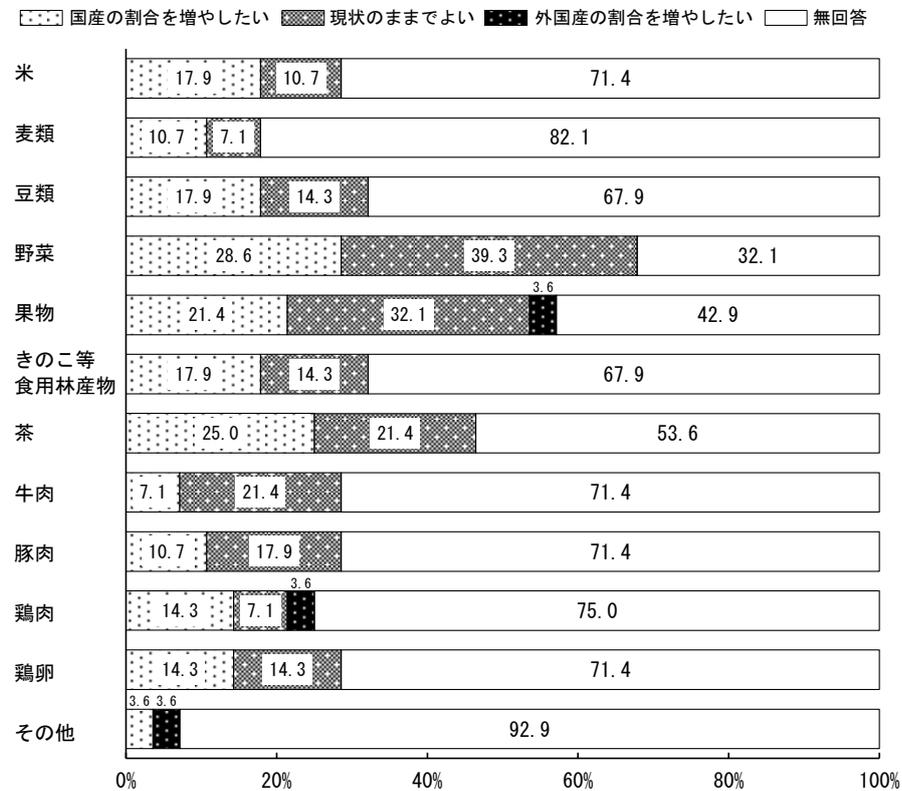
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図1－(6)の「全体」と同じ。

(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各品目の図中の割合を算出するに当たっての分母。以下、(6)の図において同じ。

要件仕入れG（要件仕入G）（n=24(100.0%））

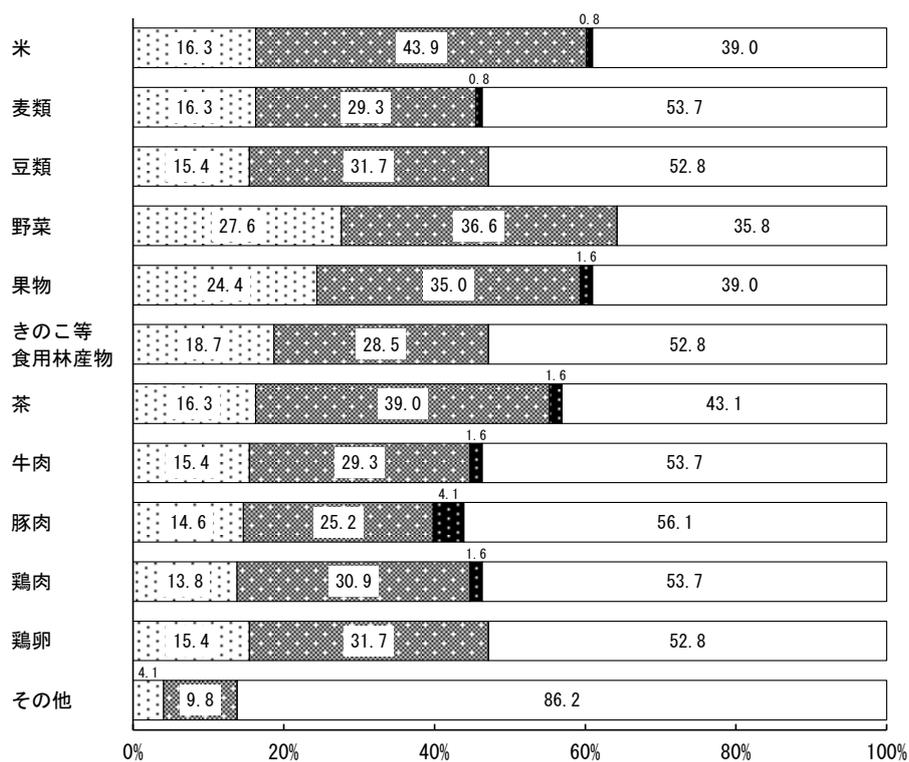


優先仕入れG（優先仕入G）（n=28(100.0%））



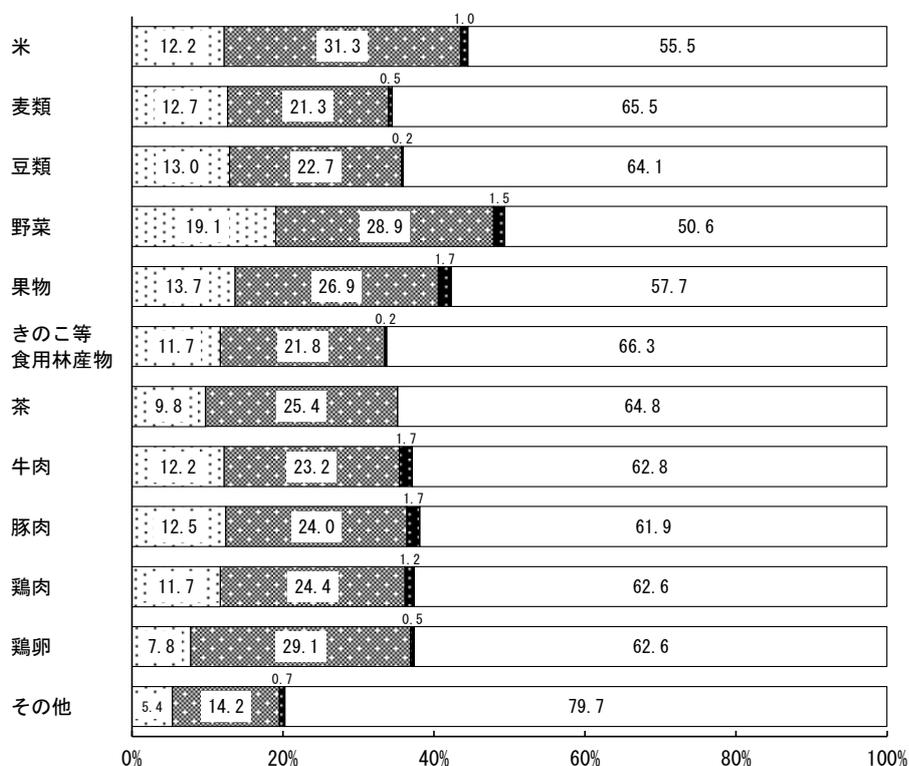
対応無し仕入れG（対応無し仕入G）(n=123(100.0%))

国産の割合を増やしたい 現状のままでよい 外国産の割合を増やしたい 無回答



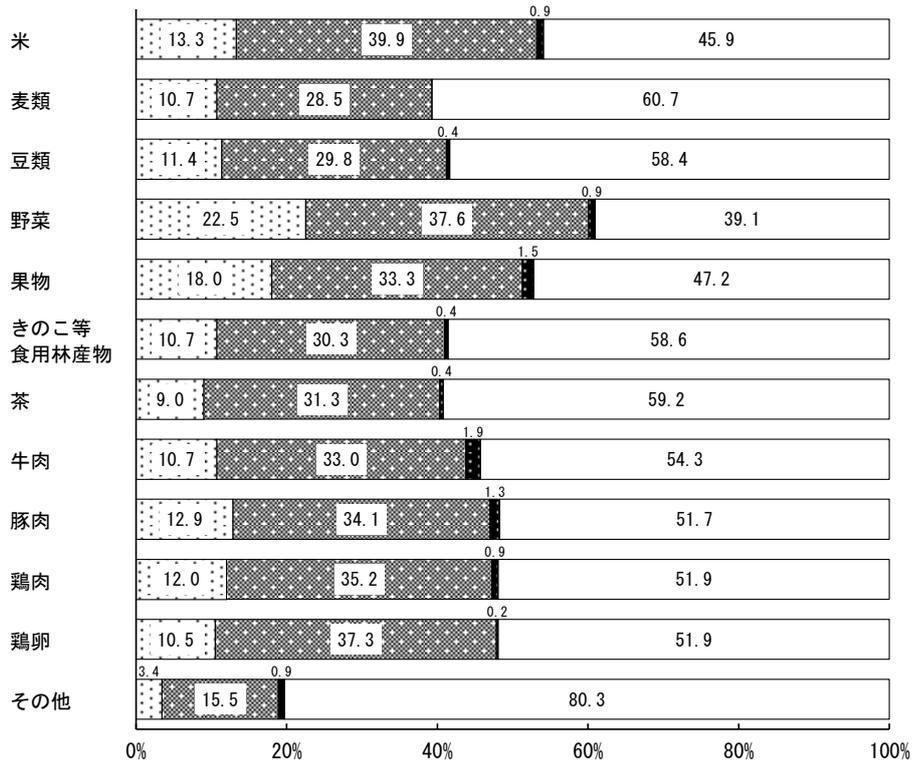
仕入れ無しG（仕入無しG）(n=409(100.0%))

国産の割合を増やしたい 現状のままでよい 外国産の割合を増やしたい 無回答



仕入れ不明G（仕入不明G）（n=466(100.0%））

国産の割合を増やしたい
  現状のままでよい
  外国産の割合を増やしたい
  無回答



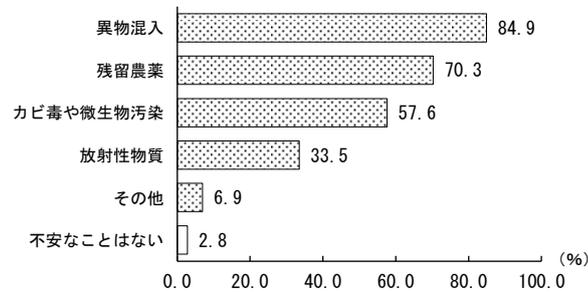
## 2 食品安全・GAPに関する認識について

### (1) 食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答）

食品を仕入れる際に食品安全の観点から感じる不安について聞いたところ、回答の最も多かった選択肢は、全体及び全てのグループにおいて「異物混入」であった。

図2－(1) 食品を仕入れる際の食品安全に関する不安要因（複数回答）

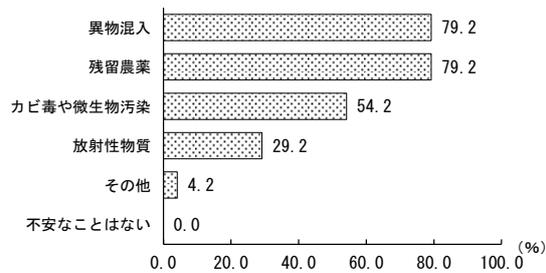
全体 (n=1,066 (100.0%))



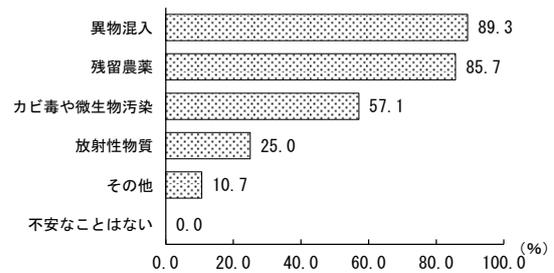
(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2－(1)の「全体」と同じ。

(注) n は有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(1)から(3)の図において同じ。

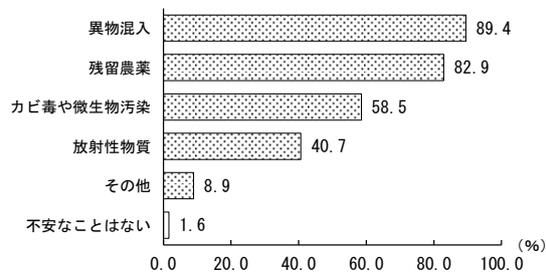
要件仕入れG (要件仕入G) (n=24 (100.0%))



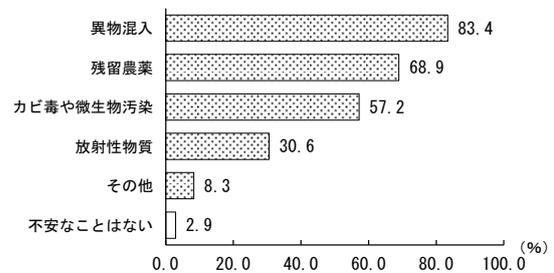
優先仕入れG (優先仕入G) (n=28 (100.0%))



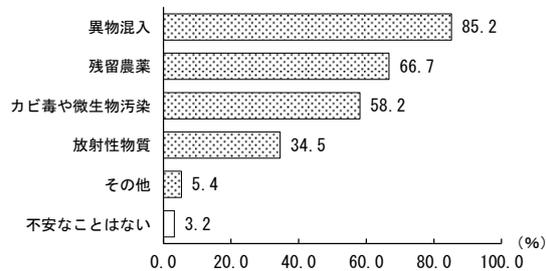
対応無し仕入れG (対応無仕入G) (n=123 (100.0%))



仕入れ無しG (仕入無G) (n=409 (100.0%))



仕入れ不明G (仕入不明G) (n=466 (100.0%))

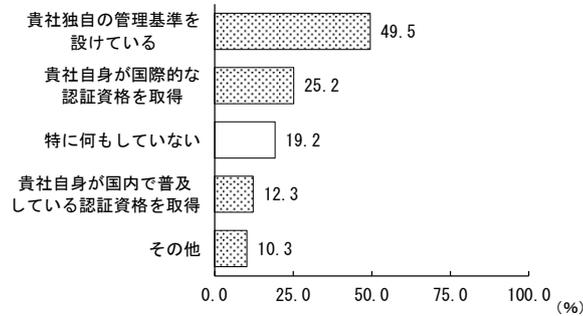


## (2) 食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答）

食品全般の安全面について事業者の体制として取り組んでいる、または、重視していることを聞いたところ、回答の最も多かった選択肢は、全体及び全てのグループにおいて「貴社独自の管理基準を設けている」であった。

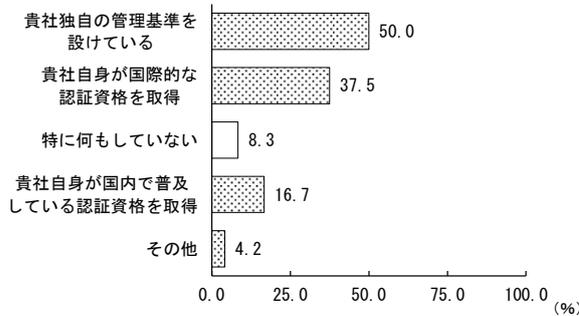
図2－(2) 食品全般の安全面に関する管理の取組・重視点（複数回答）

全体 (n=1,066 (100.0%))

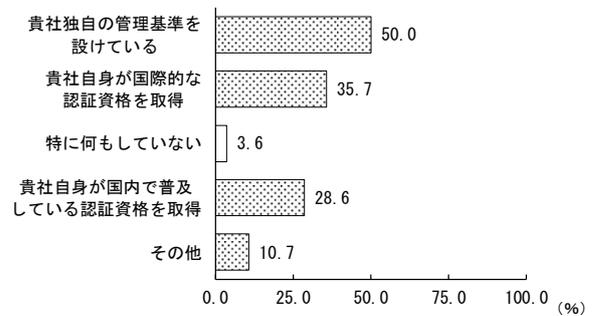


(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図2－(2)の「全体」と同じ。

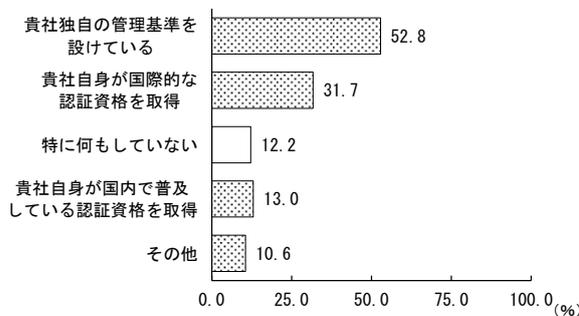
要件仕入れG（要件仕入G）(n=24 (100.0%))



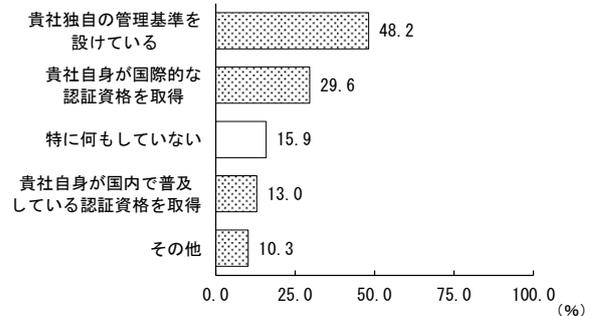
優先仕入れG（優先仕入G）(n=28 (100.0%))



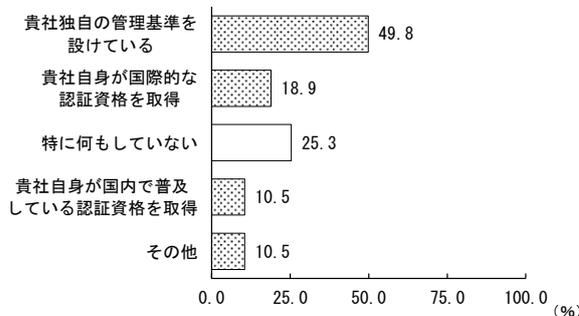
対応無し仕入れG（対応無仕入G）(n=123 (100.0%))



仕入れ無しG（仕入無G）(n=409 (100.0%))



仕入れ不明G（仕入不明G）(n=466 (100.0%))

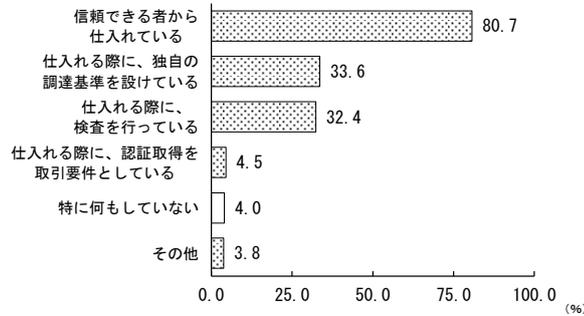


### (3) 食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答）

食品全般の安全面に関して仕入れの際に事業者として取り組んでいる、または、重視していることを聞いたところ、回答の最も多かった選択肢は、全体及び全てのグループにおいて「信頼できる者から仕入れている」であった。

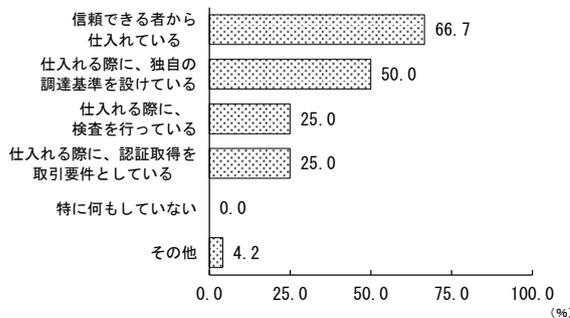
図2－(3) 食品全般の安全面に関する仕入れの取組・重視点（複数回答）

全体(n=1,066 (100.0%))

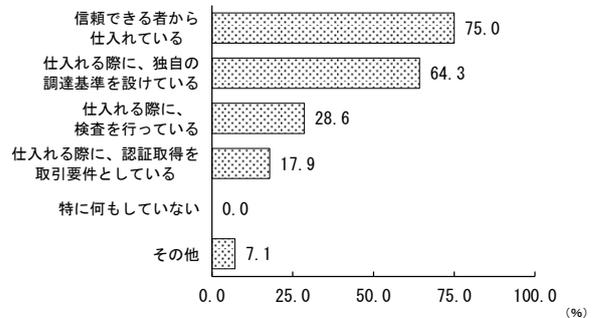


(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2－(3)の「全体」と同じ。

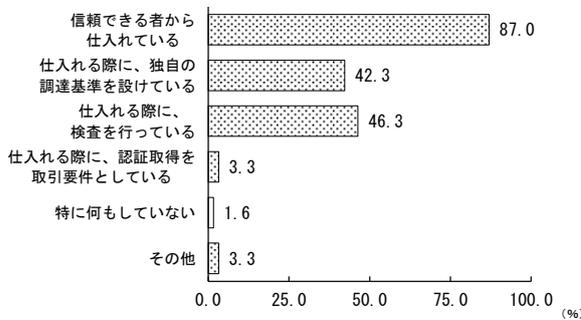
要件仕入れG (要件仕入れG) (n=24 (100.0%))



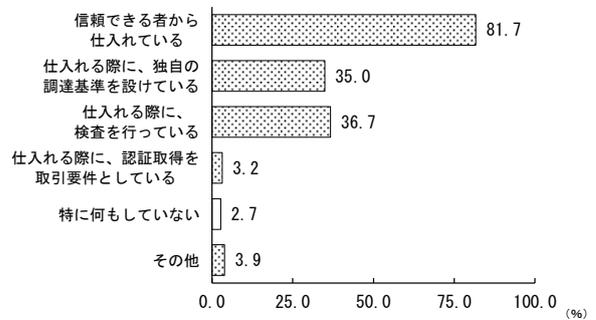
優先仕入れG (優先仕入れG) (n=28 (100.0%))



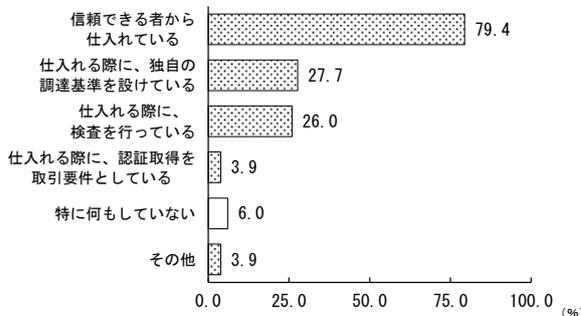
対応無し仕入れG (対応無し仕入れG) (n=123 (100.0%))



仕入れ無しG (仕入れ無しG) (n=409 (100.0%))



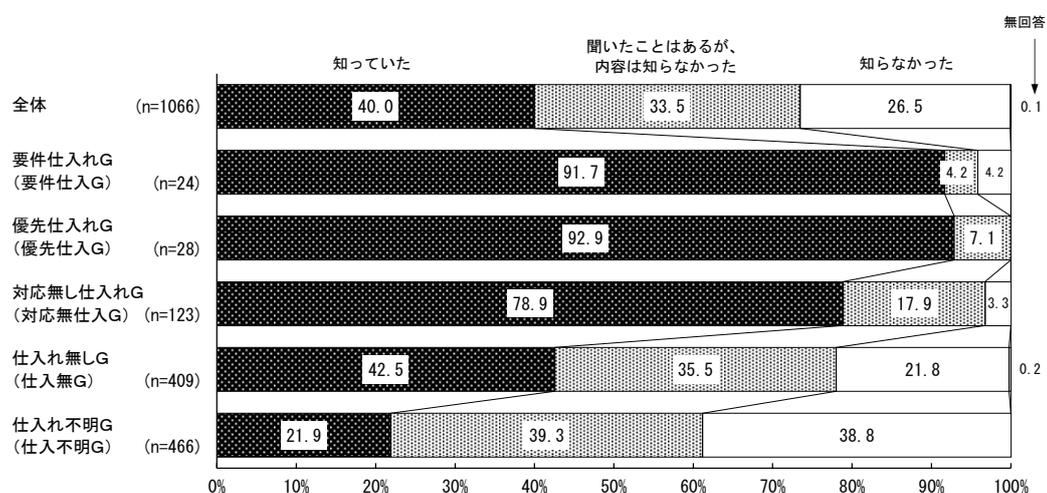
仕入れ不明G (仕入れ不明G) (n=466 (100.0%))



#### (4) G A Pの認知度

G A Pを知っているか聞いたところ、回答が最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「知っていた」の40.0%であった。

図2－(4) G A Pの認知度



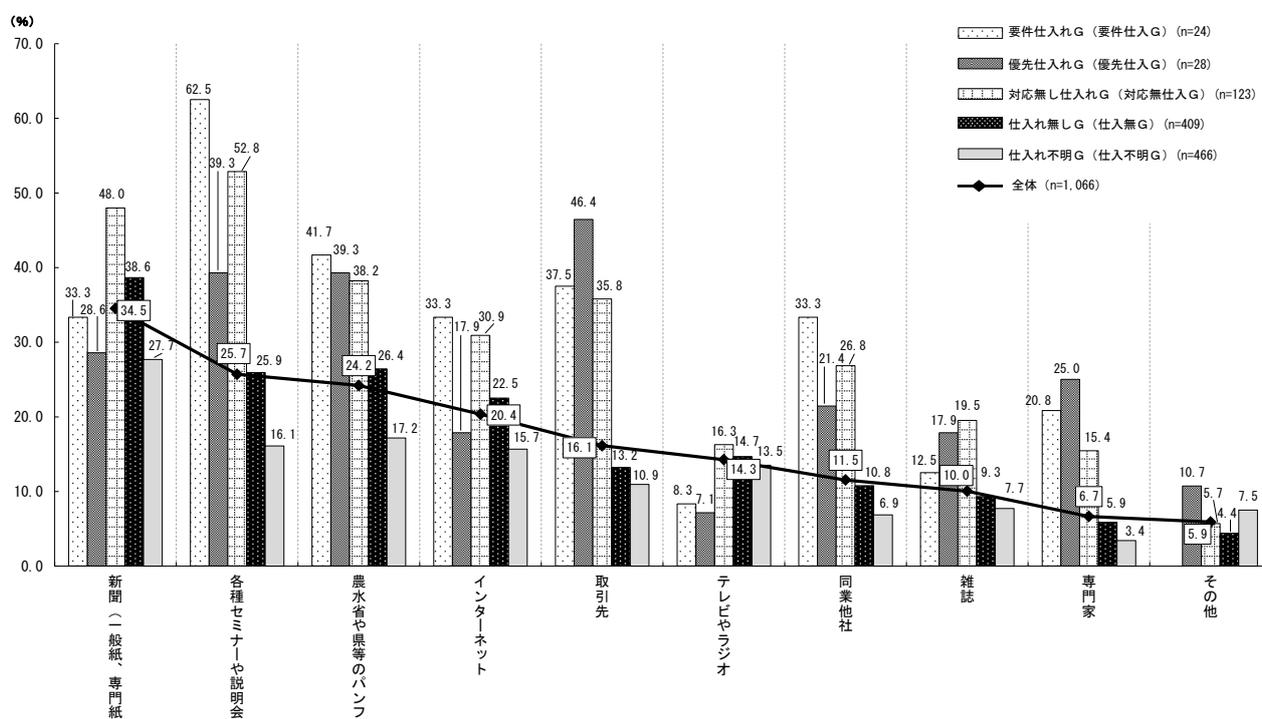
(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2－(4)の「全体」と同じ。

(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各グループの図中の割合を算出するに当たっての分母。

### (5) GAPに関する情報の収集元（複数回答）

GAPに関する情報をどのようなところで見聞きするか聞いたところ、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体では「新聞（一般紙、専門紙）」の34.5%であった。

図2－（5） GAPに関する情報の収集元（複数回答）



(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2－（5）の「全体」と同じ。

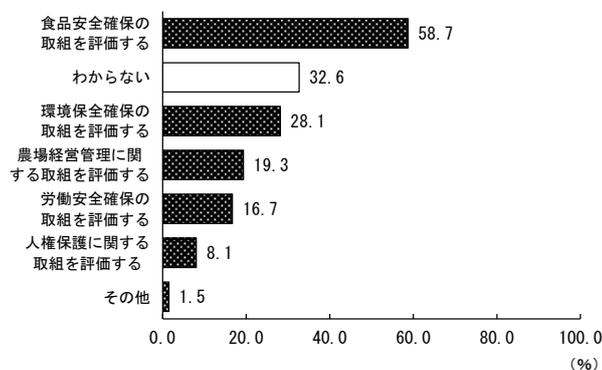
(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。

## (6) G A Pの取組に関して評価する点（複数回答）

G A Pの取組に関して評価する内容を聞いたところ、「わからない」の選択肢を除く場合、回答の最も多かった選択肢及びその割合は、全体及び全てのグループで「食品安全確保の取組」であった。

図 2 - ( 6 ) G A Pの取組に関して評価する点

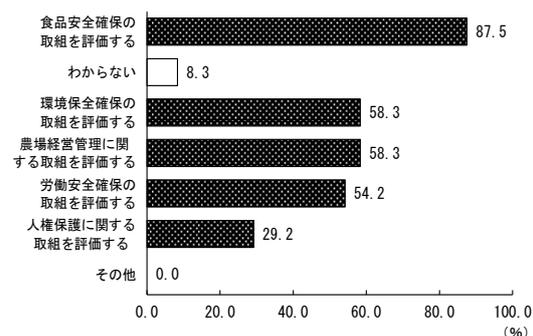
全体 (n=1,066 (100.0%) )



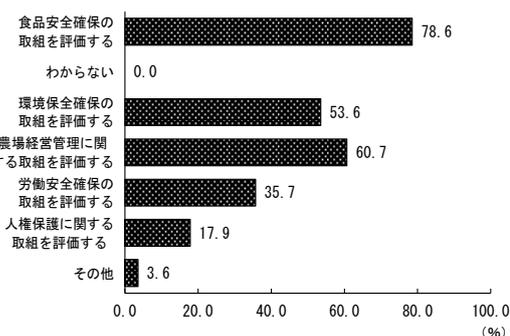
(注) 「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のIIの図2-(6)の「全体」と同じ。

(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各選択肢の割合を算出するに当たっての分母。以下、(6)の図において同じ。

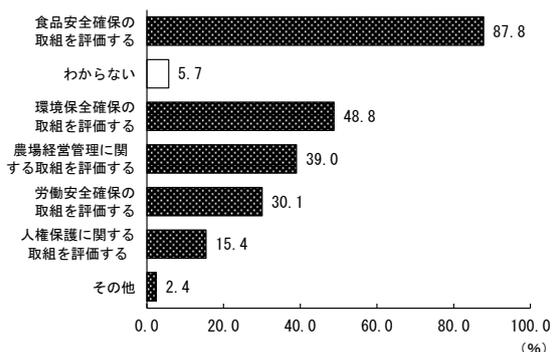
要件仕入れG (要件仕入G) (n=24 (100.0%) )



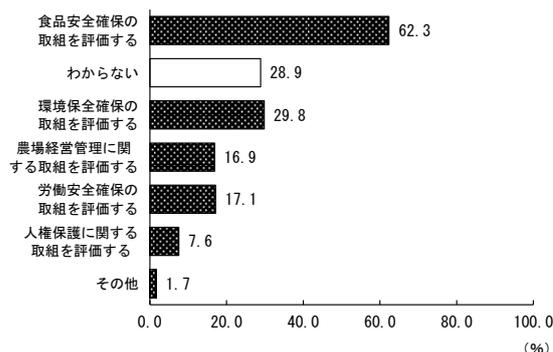
優先仕入れG (優先仕入G) (n=28 (100.0%) )



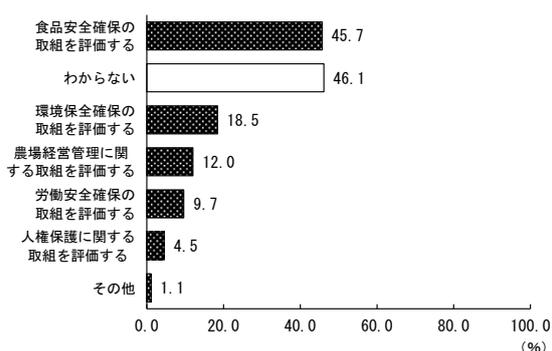
対応無し仕入れG (対応無し仕入G) (n=123 (100.0%) )



仕入れ無しG (仕入無G) (n=409 (100.0%) )



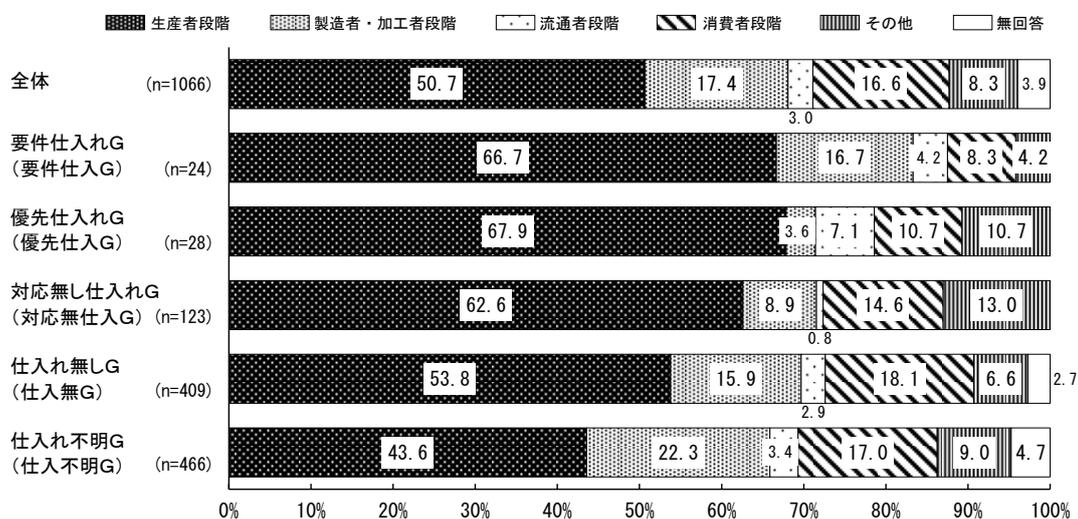
仕入れ不明G (仕入不明G) (n=466 (100.0%) )



### (7) 食品安全リスク対応に要する費用（GAP認証取得費用等）の主な負担者

農畜産物の食品安全リスクへの対応に要する費用（GAP認証取得費用等）を主にどの者が負担すべきかを聞いたところ、回答の最も多かった選択肢は、全体及び全てのグループにおいて「生産者段階」であった。

図2-(7) 食品安全リスク対応に要する費用（GAP認証取得費用等）の主な負担者



(注)「全体」は、調査結果報告書【食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食業別】のⅡの図2-(7)の「全体」と同じ。

(注) nは有効回答票の送付のあった事業者の数で、各業種の図中の割合を算出するに当たっての分母。